

片岸地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成30年12月19日（水）
18：00～
開催場所：片岸集会所

次 第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の主旨とこれまでの経緯
3. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
4. 住宅再建に係る補助制度について
5. 片岸公園について
6. 片岸8号線 の道路改良事業について
7. 集会所及び消防屯所の整備について
8. 鵜住居地区商業施設の整備について
9. 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の進ちょく状況について
10. ラグビーワールドカップ2019釜石開催の取組みについて
11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
12. 根浜海岸の砂浜再生事業について
13. 国道45号 電線共同溝工事について
14. 意見交換

1. 市長からの挨拶

2. 本日の主旨とこれまでの経緯

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
今回のまちづくり協議会・地権者連絡会は、

- まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
- 住宅重建に係る補助制度について
- 片岸公園について
- 片岸8号線の道路改良事業について
- 集会所及び消防屯所建設事業について
- 鵜住居地区商業施設の整備について
- 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の進ちょく状況について
- ラグビーワールドカップ2019釜石開催の取組みについて
- 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
- 根浜海岸の砂浜再生事業について
- 国道45号 電線共同溝工事について

について、次第に沿いながら御説明させていただきます。

これまでの経緯①

- 平成25年6月23日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・復興事業実施スケジュールについて
 - ・県道吉里吉里釜石線の整備について ほか
- 平成25年9月28日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・土地区画整理事業スケジュールの見直しについて
 - ・土地区画整理事業の進捗について ほか
- 平成26年4月24日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について
 - ・土地区画整理事業の進捗状況について
 - ・工事計画等について
- 平成27年3月4日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ・災害復興公営住宅について
 - ・産業道路整備事業及び雨水排水整備事業について ほか

これまでの経緯②

- 平成28年3月30日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ・他の復旧・復興事業について ほか
- 平成28年12月6日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ・鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について ほか
- 平成29年5月22日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて
 - ・ラグビーワールドカップ2019釜石開催に向けて ほか
- 平成29年11月6日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・町界町名変更について
 - ・片岸公園の整備について ほか
- 平成30年1月17日 復興まちづくり協議会・地権者連絡会
 - ・宅地引渡しスケジュールについて
 - ・町界町名変更について
 - ・片岸公園の整備について ほか

3. まちづくり計画の進捗状況及びスケジュールについて

片岸地区

計画図

【計画の考え方】

◆安全・安心の確保

- ①市街地は平均1.1m程度嵩上げ
 - ②国道45号を円滑な線形に整備
 - ③水門及び防潮堤(標高14.5m)を整備
 - ④公園は、市民の利便性を考慮し配置
 - ⑤道路整備に併せて、上下水道施設を整備
 - ⑥宅地が区画道路に接道するように配置

◆公共施設の整備

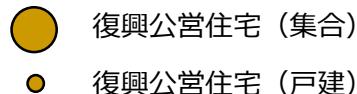
- ①復興公営住宅の整備(集合17戸:県、戸建18戸)
 - ②集会施設、消防屯所の整備

◆産業の再生

- ①企業の立地
 - ②国道45号沿線への事業所等の立地
 - ③漁港の復旧、漁港施設の整備、漁船の確保、
養殖漁場や漁業関連施設等整備



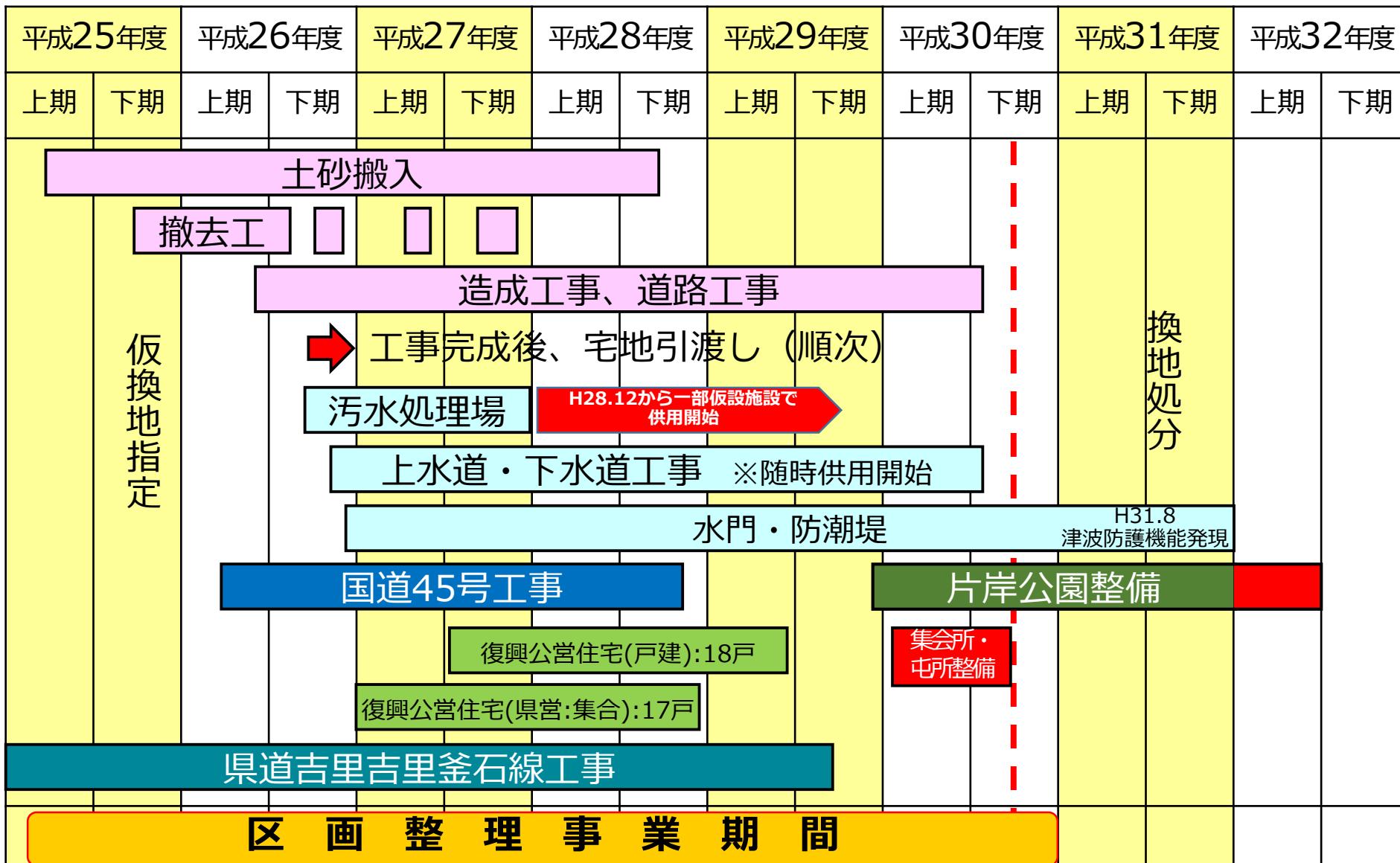
※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。



工事スケジュール

現在

片岸地区



※ 状況に応じて変更することがあります。

4. 宅地引渡しスケジュールについて

宅地造成状況（地区全体）



整備中（平成30年11月時点）

宅地造成状況（復興公営住宅付近）



整備後（平成30年10月時点）

道路整備状況（片岸踏切付近）



整備中（平成30年10月時点）

集会所・消防屯所

平成30年12月完成予定



整備中（平成30年11月時点）

水門整備状況

整備中（平成29年4月時点）



整備中（平成30年11月時点）



鶴住居駅前公共施設(うのすまい・トモス)整備状況



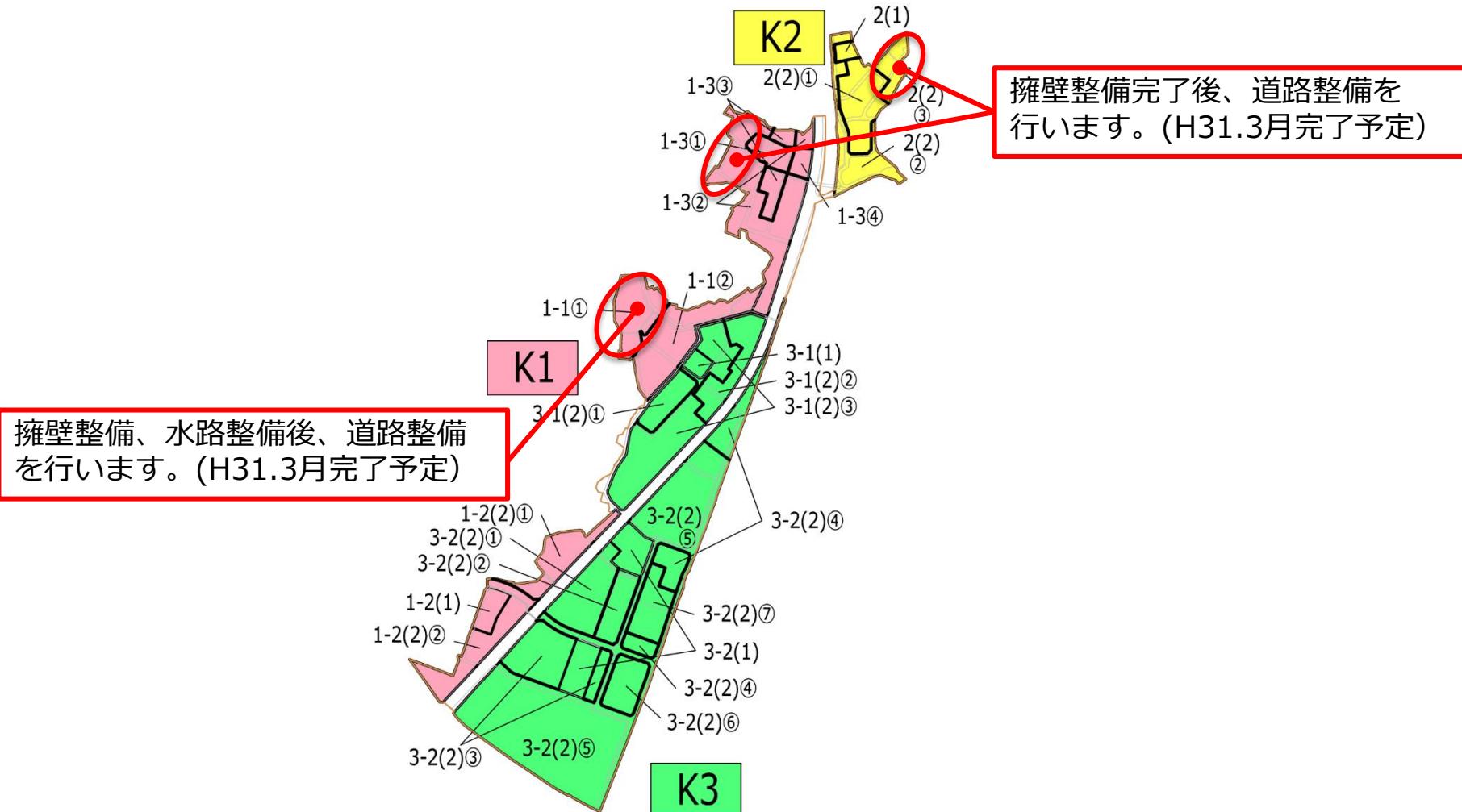
整備中（平成30年11月時点）

宅地の整備状況について

- 宅地の整備は一部の工区を除き概ね完了しております。

※ 1-1、1-3および2(2)工区など一部の宅地について、引渡しが遅れ、ご迷惑をおかけいたします。

宅地引渡し時期については、地権者の皆様のご要望に沿えるよう調整しております。



町界変更案の決定について

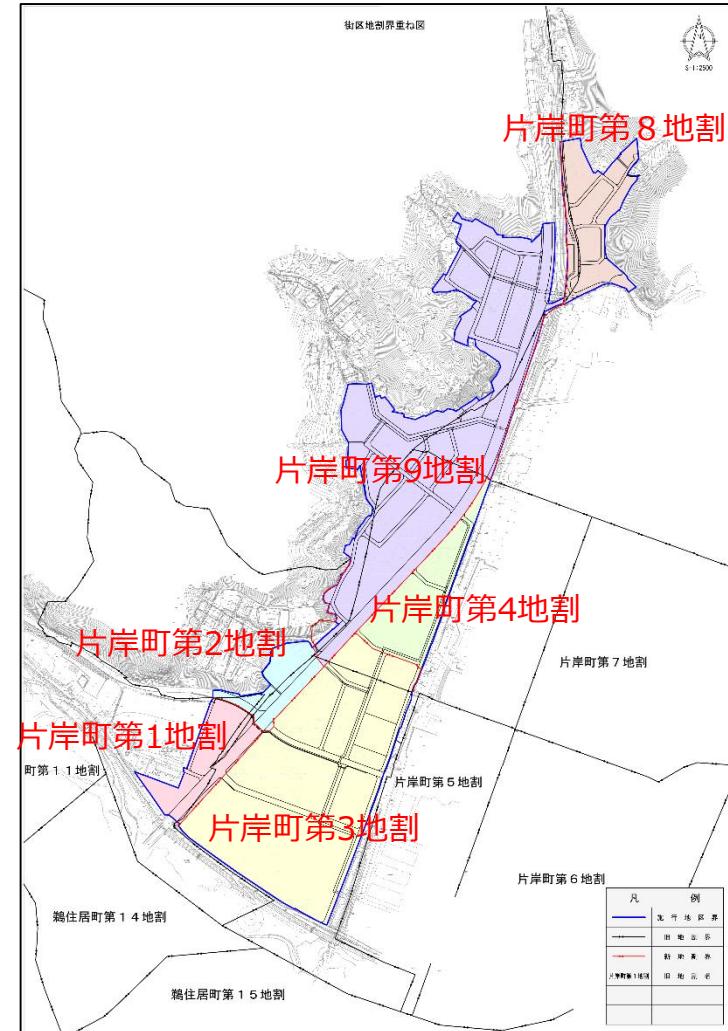
- 平成30年1月に開催したまちづくり協議会でご了解いただいた町界の変更案が平成30年6月の市議会で可決されました。
- 町界地番（住所）の変更は「**換地処分の公告の翌日**」に実施されます。

変更案

- 新町名は導入しない。
- 現在の地割界（町界）の位置を土地区画整理事業後の道路等の恒久的な施設に合わせるよう変更する。
- 地番は「201番」から連番で付番する。
- **施行地区外**（白地の部分）は町名地番が変更されないため、**同じ町名**になります。

住所の表示例

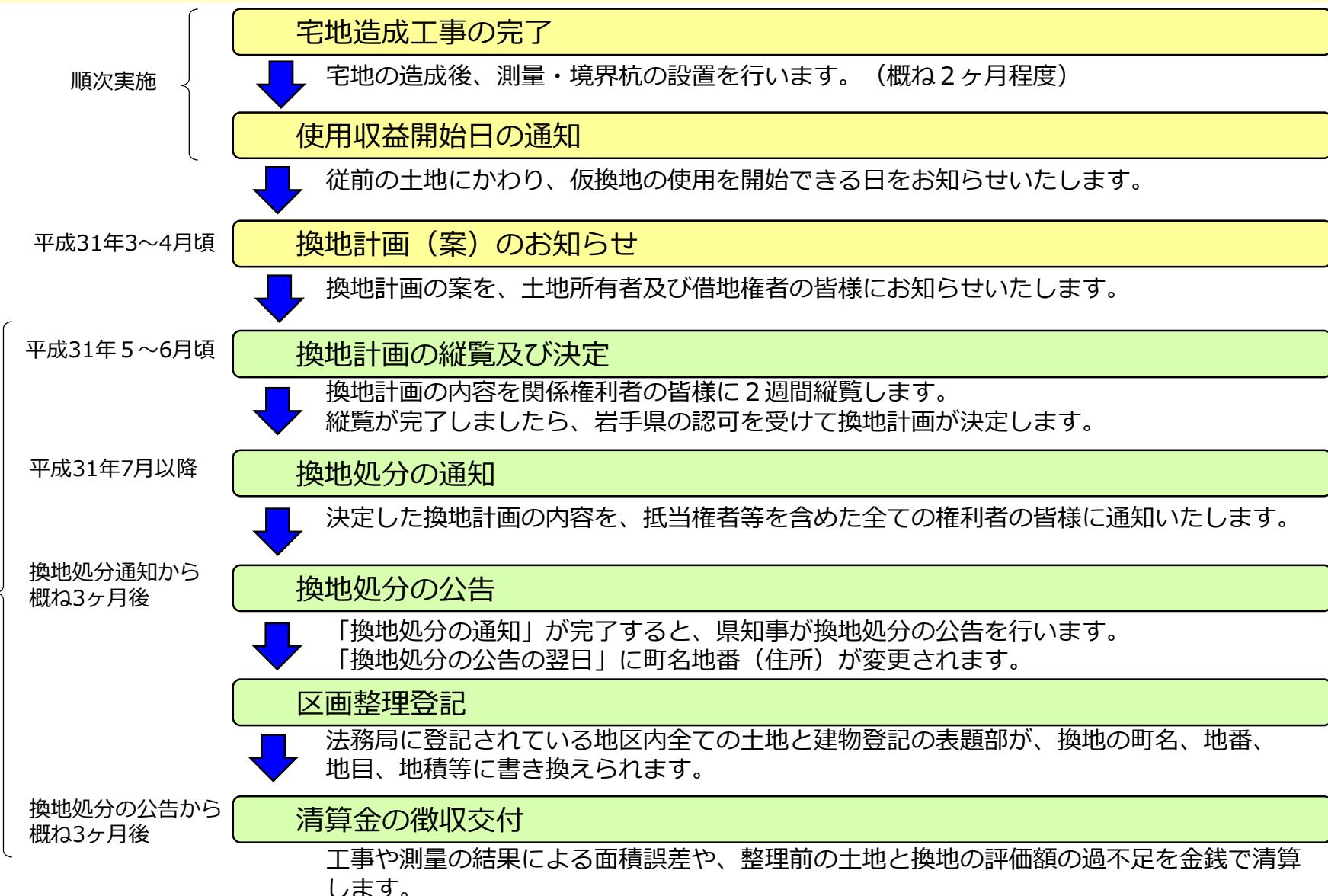
片岸町第8地割 201番地



土地区画整理事業の換地処分に向けた流れ

■ 土地区画整理事業の事業完了に向け、次のとおり手続きを進めてまいります。

※具体的な時期や詳細な内容については、実施時期に関係権利者の皆様にお知らせします。



換地計画（案）のお知らせについて

- 「換地計画（案）のお知らせ」は、換地計画の縦覧に先立ち、換地計画（案）の内容を事前に土地所有者及び借地権者の皆様にお知らせするものです。

換地計画について

「換地計画」とは、整理前の土地と換地（整理後の土地）の組み合わせや、権利関係のとりまとめ及び換地相互間の不均衡を是正するための清算金を定めるもので、具体的な内容は以下のとおりです。

① 換地明細書

整理前の土地と換地の町名、地番、地目、地積、所有権、借地権、抵当権等の権利関係

② 清算金明細書

整理前の権利価額と換地の権利価額及び清算金額

③ 換地図

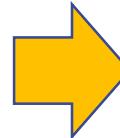
換地の町名、地番、位置、形状

清算金について

- 工事や測量の結果による面積誤差や、整理前の土地と換地の評価額の過不足を金銭で清算します。

従前地の面積

A 200m ²	B 150m ²	C 300m ²	D 350m ²
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------



従前地と等価な換地面積

A' 180m ²	B' 135m ²	C' 270m ²	D' 315m ²
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------



実際の換地地積

	従前地 面積	従前地と 等価な 換地面積 ①	実際の 換地面積 ②	過不足 面積 ②-①
A	m ² 200	m ² 180	m ² 182	m ² +2
B	m ² 150	m ² 135	m ² 134	m ² -1
C	m ² 300	m ² 270	m ² 273	m ² +3
D	m ² 350	m ² 315	m ² 311	m ² -4

過不足を金銭で清算 ↑

A'' 182m ²	B'' 134m ²	C'' 273m ²	D'' 311m ²
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

固定資産税の取り扱いについて

- 「津波浸水区域内」で対象と認められる土地・家屋の固定資産税は全額又は1/2を減免することとしておりますが、平成31年度以降は復興事業が完了※した地区ごとに段階的に課税となります。

※復興事業完了とは、宅地の面的整備の完了とともに、防潮堤、水門等がその機能を備えた時点を指します。

○「津波浸水区域内」の課税時期の見込み

片岸地区	未使用の 土地・家屋	使用している 土地・家屋
平成30年度	全額減免	1/2減免
平成31年度	全額減免	1/2減免
平成32年度	1/2減免	課税（減免なし）
平成33年度		課税（減免なし）

※詳しくは税務課資産税係にお問い合わせください。

街路灯の整備について

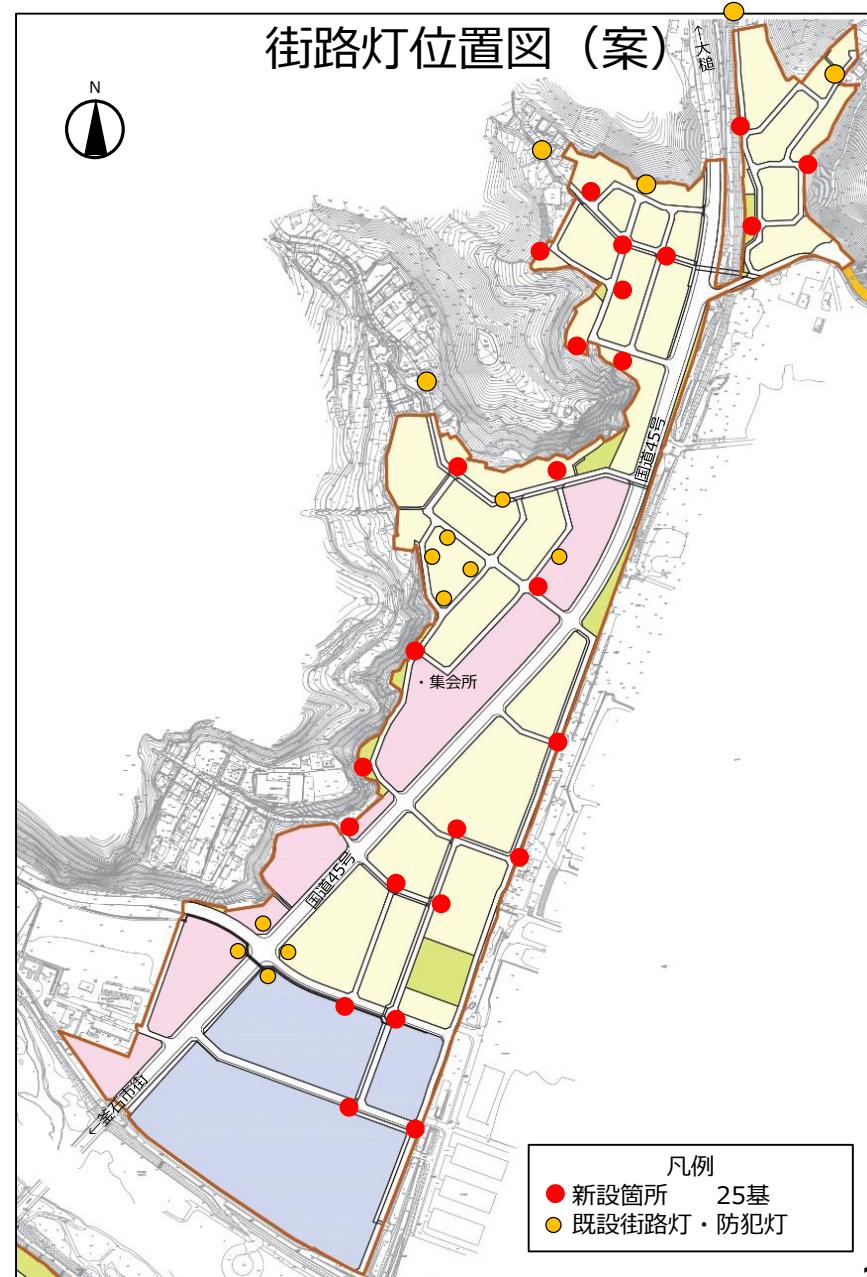
- 街路灯の配置は、道路交差点部を中心に設置を予定しています。
- 片岸地区では、新たに25基の街路灯の設置を予定しています。
- 街路灯の整備工事は、年度内に完了するよう、11月から市内一円に施工しています。
- 配置については10月の町内会役員会において次の図面の案を提示しました。

防犯灯の設置について

町内会で設置を希望する場合、設置費の半額補助があります（1灯につき5万円を上限）。電気料金は町内会負担となります。

詳しくは生活安全課まで相談願います。

街路灯位置図（案）



※現地の状況により位置に変更がある場合があります。

凡例

● 新設箇所 25基
○ 既設街路灯・防犯灯

4. 住宅再建に係る補助制度について

住宅再建に係る補助制度について

東日本大震災で被災した方が住宅を再建する際の補助制度についてご説明いたします。

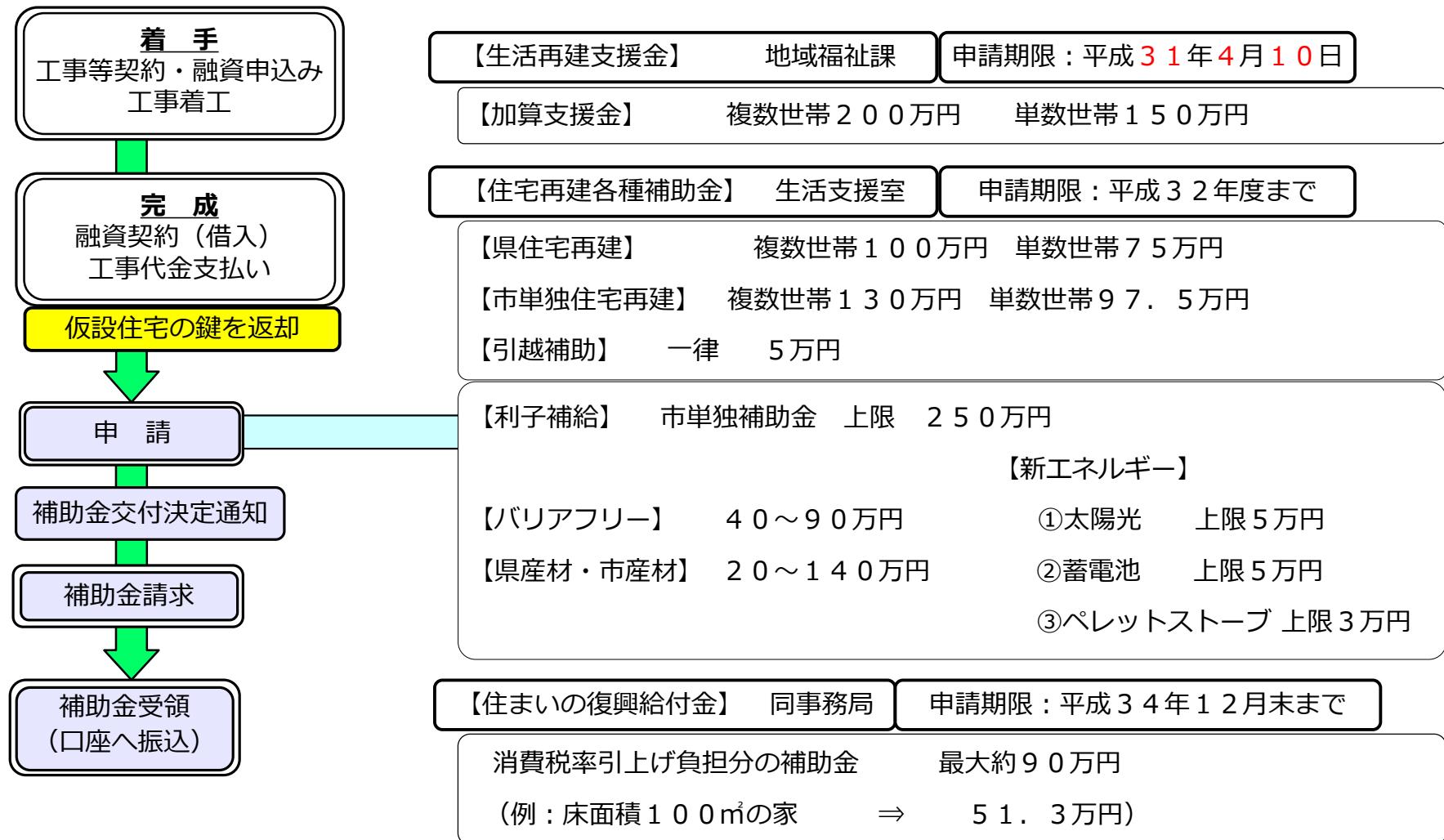
補助金額は最大値で行っております。なお、補助制度は世帯によって、また該当する制度によって受給できる金額が異なったり、事前に申請が必要となる場合がございますので、個別にご相談ください。

本協議会終了後に個別に相談をお受けします。また、お電話等でも隨時対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

【住宅再建相談会】を

平成30年12月16日（日）・平成31年1月27日（日）に
大町：青葉ビルで行いますのでどうぞご利用ください。

住宅再建補助金の手続き



住宅再建補助金の手続き

住宅再建の相談窓口

【生活支援室】

TEL 0193-22-1171

市役所第5庁舎1階

【地域福祉課】（加算支援金）

TEL 0193-22-0177

①保健福祉センター2階

②市役所第5庁舎1階

【すまいの復興給付金事務局】

TEL 0120-250-460

釜石市住宅再建宅地対策補助金について

市の復興事業により整備した事業区域内の宅地の安全性の向上のため、被災者が自宅敷地の安全対策工事を行う場合に要する経費に対し、補助金を交付いたします。

ただし、宅地の所有者から補助対象工事の施工について承諾が得られた者とします。

○補助対象工事

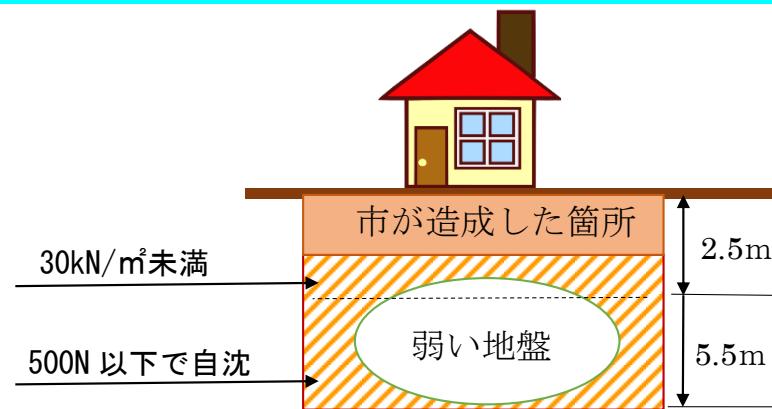
- (1) 宅地の弱い地盤に対して行う地盤改良工事
- (2) 高低差1メートル以上の区間内における転落防止柵等の設置工事
- (3) 同一宅地内において高低差が0.5メートル以上ある箇所で、この高低差に対する擁壁及び階段を設置する工事

問合せ先

〒026-8686 釜石市只越町3-9-13 市役所第5庁舎2階
釜石市都市整備推進室 管理係
TEL 22-2111(内線468) 27-8437(直通)

参考図

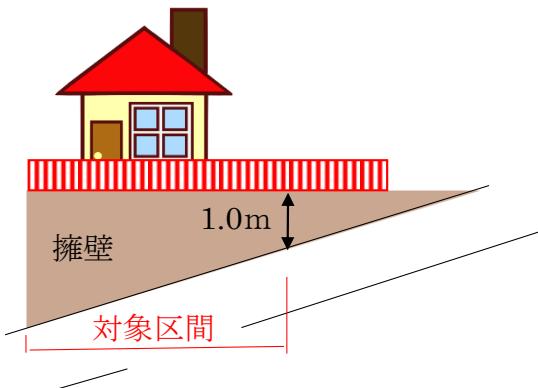
■地盤改良



■弱い地盤

- ・地盤支持力が宅地の仕上げ面から深さ 2.5m以内において $30kN/m^2$ 未満、2.5mから 5.5m 以内において荷重が 500N 以下で自沈する層がある場合の地盤改良工事
- ・補助対象工事の合計額の 1/2 とし、50 万円を限度

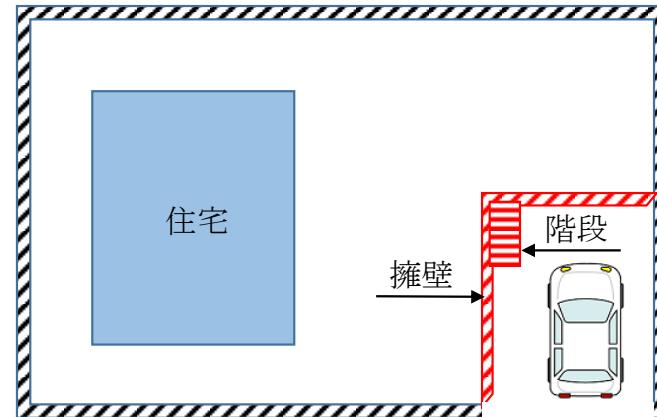
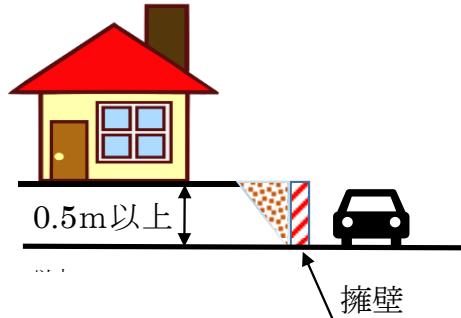
■転落防止柵等



■転落防止柵等

- ・高低差 1m以上の区間ににおける転落防止柵等の設置工事
- ・補助対象工事の合計額又は設置延長 1 mにつき 10,000 円として積算した金額のいずれか低い金額

■擁壁及び階段



■擁壁及び階段

- 同一宅地内において高低差が0.5m以上ある箇所の擁壁及び階段設置工事
- 補助対象工事の合計額又は市が定める基準のいずれか低い金額

市が定める基準

高 低 差	擁 壁	階 段
0.5m以上 1.0m未満	1m当たり 9万円	1箇所当たり 8万円
1.0m以上 2.0m未満	1m当たり 13万円	1箇所当たり 10万円
2.0m以上	1m当たり 18万円	1箇所当たり 12万円

5. 片岸公園の整備について

片岸公園整備の進捗状況について



公園整備の目的

3.11規模の津波が襲来した場合、防潮堤を越えてきますので、防潮堤を越えてきた津波を湛水させる。また、津波によって流された漂流物の捕捉を目的とした植樹をおこなう減災機能を有する公園として整備を予定しております。

これまでの経緯

平成29年11月3日 第1回ワークショップ

平成30年5月13日 第2回ワークショップ

を開催し、現在の基盤整備について了解をいただいております。

片岸公園整備の進捗状況について

2回のワークショップを通じ、トイレ水飲み場の設置等の様々な要望をいただいたことを踏まえ、復興庁と相談してまいりました結果、トイレ水飲み場の設置については前向きな回答をいただきました。

トイレ水飲み場の設置を踏まえた今後のスケジュールをお伝えします。

○基盤整備

平成30年3月 第1期工事を発注済

平成31年2月 第2期工事を2か年で発注

平成32年4月 第3期工事を発注

平成32年度内の工事完成

○トイレ水飲み場

平成31年度に設計業務委託発注

平成32年度内の工事完成

を予定しております。

また、トイレ水飲み場の設計がまとまった際には、報告会を兼ね第3回のワークショップ開催を予定しております。

6. 片岸8号線道路改良工事の進捗状況について

片岸8号線道路改良事業

1. 事業目的

- ① 東日本大震災により、被害を受けた片岸地区の復興をする。
- ② 地震・津波の際、近接した漁港、市・県・国道、ICを結ぶ避難路線として整備をする。

2. 現在の現場状況

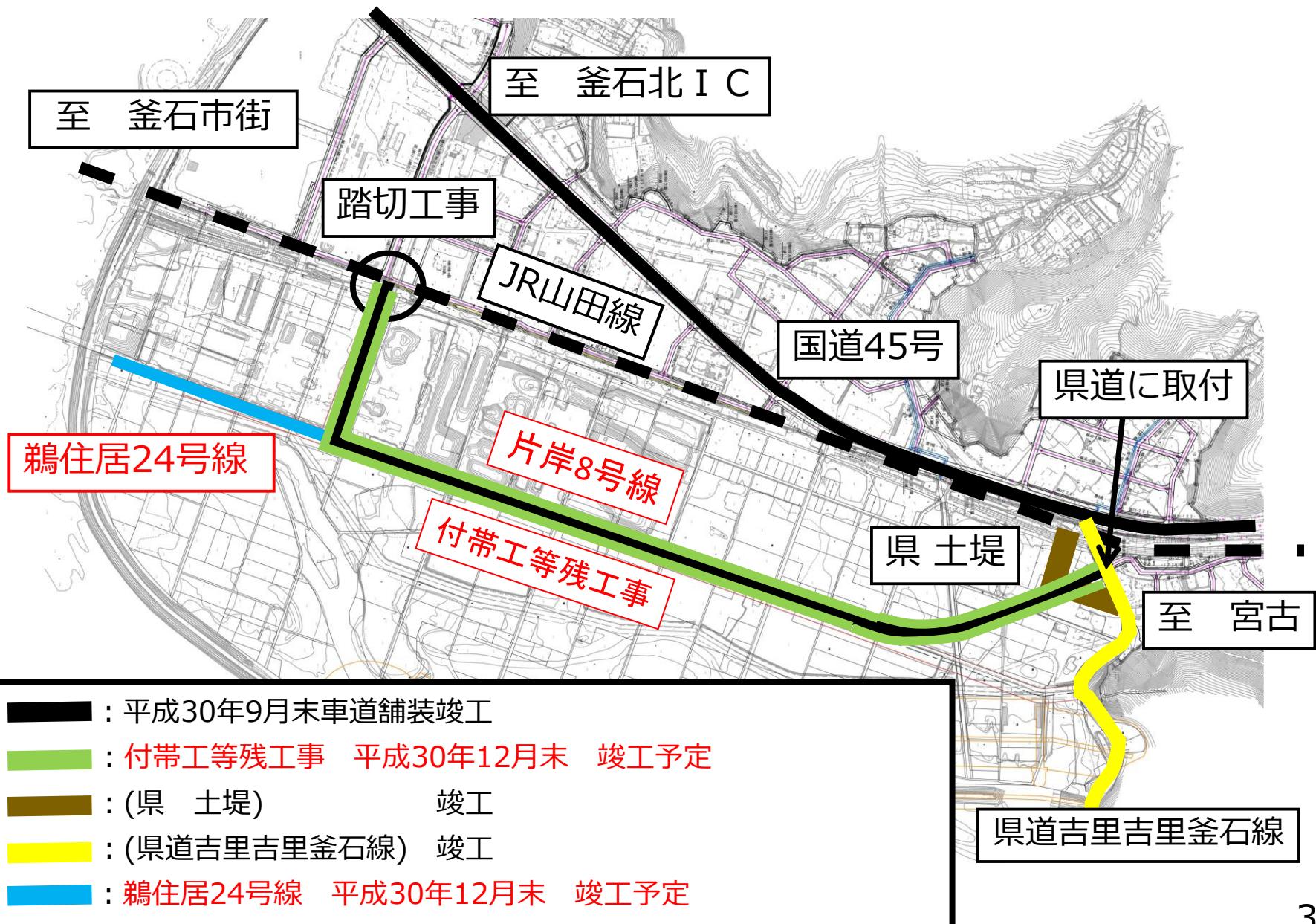
道路計画の見直しにより、工種の増

3. 今後の予定

- ・ 本工事は平成30年9月末に車道舗装を竣工

※その他付帯工等残工事を含め事業竣工を平成30年12月末に変更する

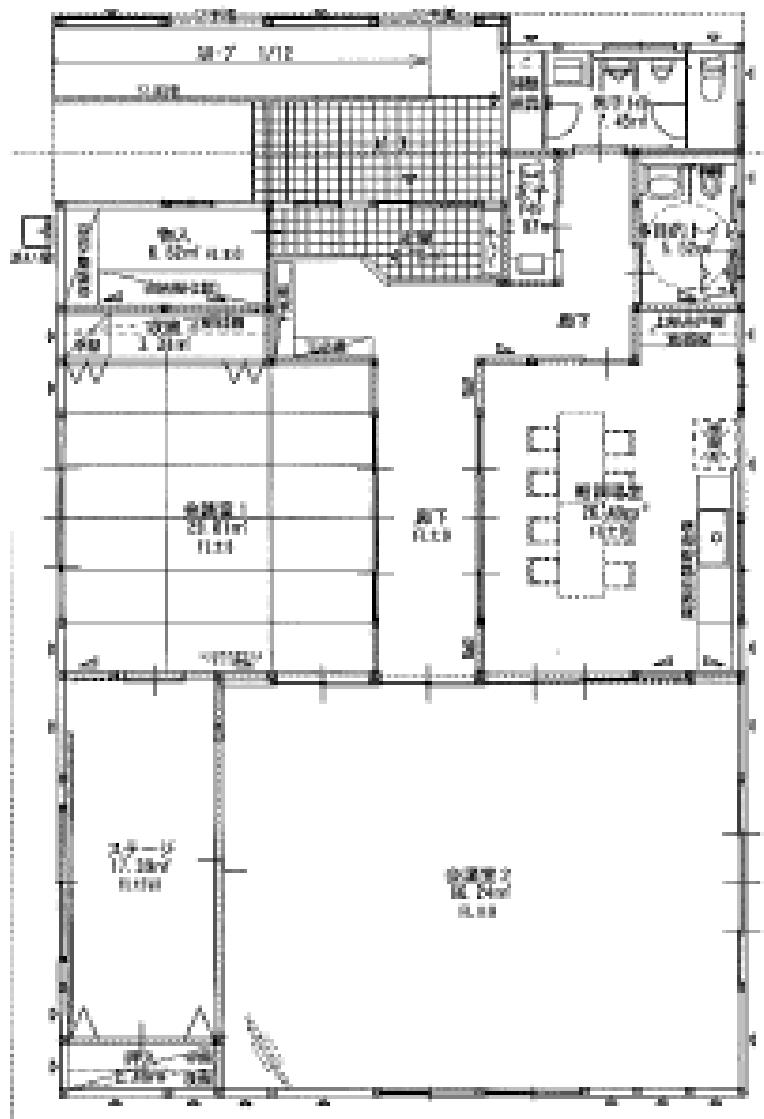
片岸8号線道路改良事業 概略図



【片岸8号線道路改良事業】工程表

7. 集会所及び消防屯所の整備について

集会所の整備について



名称	片岸集会所
住所	釜石市片岸町第9地割 102番地1
構造	木造1階建
延床面積	194.18m ²
内訳	会議室1・会議室2・ 調理室・その他
完成	平成30年12月7日

集会所の整備について

集会所完成予定図



消防屯所

消防屯所の整備について



名称	釜石市消防団 第6分団第4部消防屯所
住所	釜石市片岸町第4地割 11番地18
構造	木造1階建
延床面積	99.99m ²
内訳	待機室・和室(8帖) ・ 車庫・資機材置場・ シャワー室
着工	平成30年6月11日
完成	平成30年12月7日
駐車場	10台程度 (※集会所と共有)

消防屯所の整備について

屯所完成予定図



8. 鵜住居地区商業施設の整備について

鵜住居地区商業施設の整備について

1. 商業施設の概要

鵜住居地域の市民生活を支える商業機能の回復を図るため、津波・原子力災害被災地域雇用創出補助金（商業施設復興整備補助金）を活用し、鵜住居地区に商業施設を整備するもの。

- (1) 施設名称 鵜住居地区商業施設
- (2) 建物構造 鉄骨造平屋建
- (3) 建築面積 1506.72m²
- (4) 事業主体 釜石まちづくり株式会社

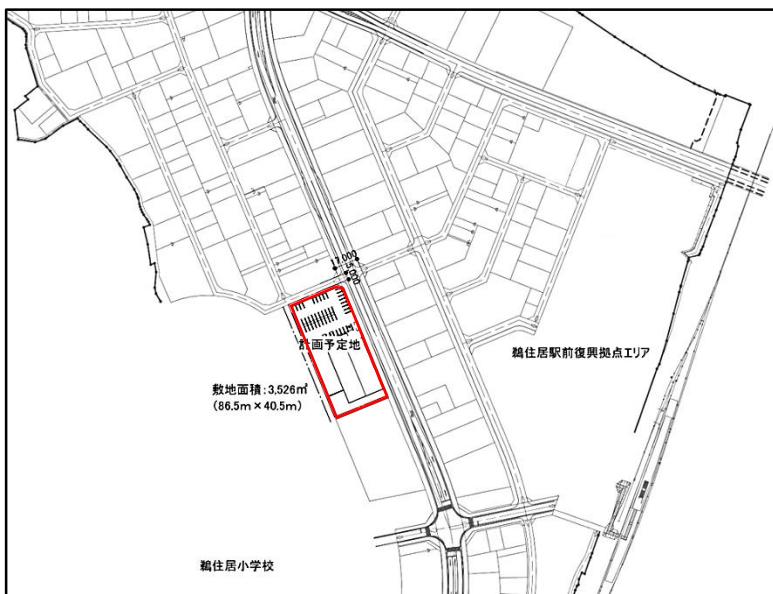


2. これまでの経緯、今後の予定

- 平成30年 6月 鵜住居地区まちなか再生計画認定
- 7月 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金申請
- 9月 同補助金採択
- 10月 鵜住居地区商業施設実施設計開始
- 平成31年 1月 鵜住居地区商業施設着工予定
- 夏頃 オープン予定

鶴住居地区商業施設の整備について

○鵜住居地区商業施設位置図



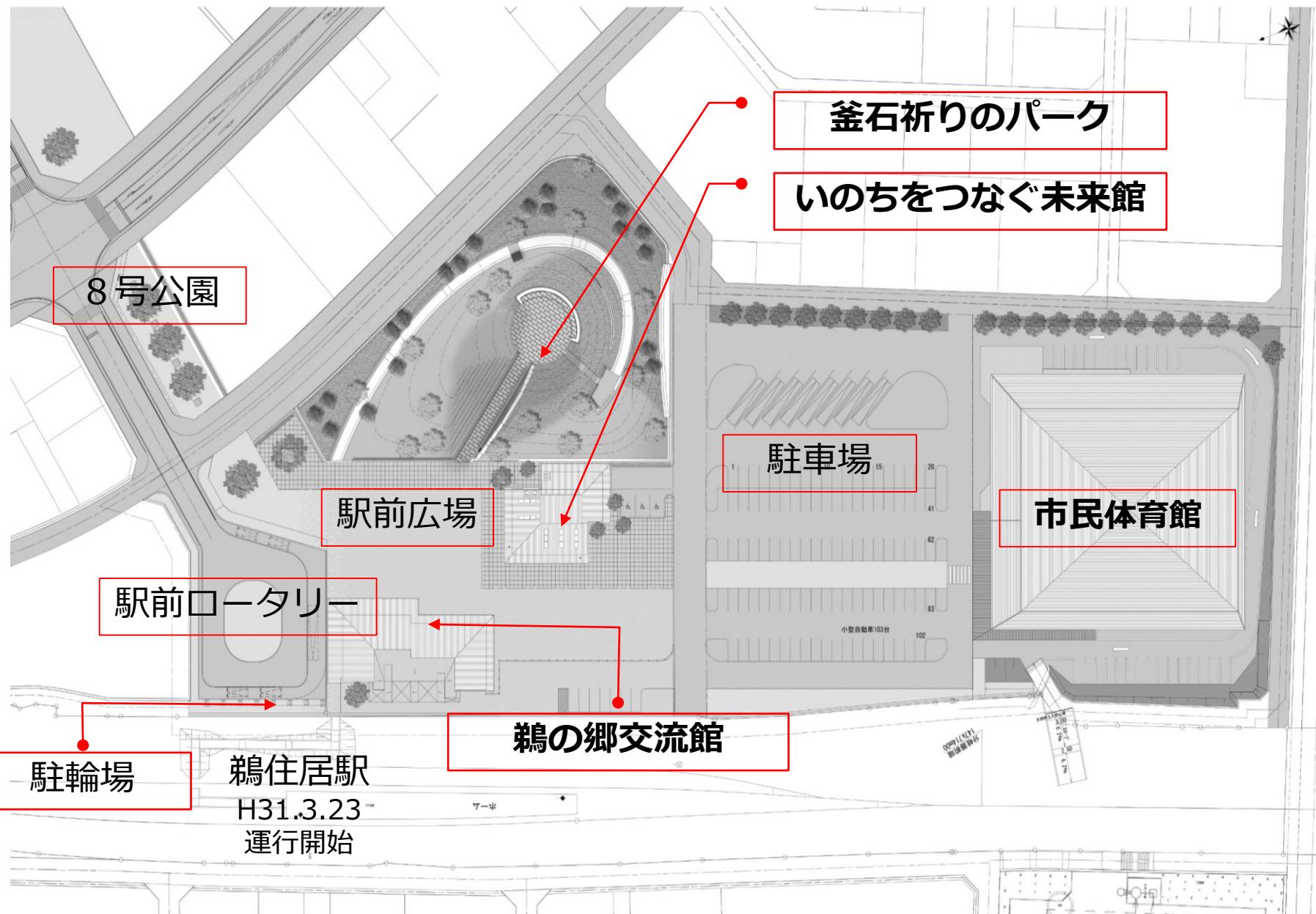
○入居テナント

NO	業 種	名 称
1	スーパー・マーケット	(株) マレイチ
2	婦人服販売	レディースショップラン
3	保険代理店	ほけんの菊池
4	カーサービスピット	(有) 二本松石油店
5	リフォームスタジオ	リフォームショップランナー
6	銀行ATM	(株) 北日本銀行

○施設平面図



9. 鵜住居駅前地区公共施設（うのすまい・トモス）の 進ちょく状況について





釜石祈りのパーク

協議：鵜住居地区祈りのパーク整備推進委員会

【施設】概成/供用開始：H31.3月

- | | | |
|-------------|--------|------------------|
| ○芳名板・プレート | H30.3月 | 遺族意思確認調査 |
| ○防災憲章モニュメント | 9・12月 | 防災市民憲章制定・本体作成 |
| ○防災センター跡地碑 | 9・12月 | 本体・説明板 |
| ○駐車場 | H31.8月 | 市民体育館工事用地として一部使用 |

いのちをつなぐ未来館

協議：鵜住居地区津波伝承施設展示運営委員会

【施設】竣工：12月 供用開始：3月

【展示】

- | | |
|---------|--------|
| ○展示実施設計 | H30.3月 |
| ○工事発注 | 9月 |

体感的展示の工夫

- ・津波VR等（空間インターフェイス）ドコモ支援
- ・映像機器等の購入（ドコモ東北応援社員募金）
- ・立体地形解析図（道・絆プロジェクト資金）

【事業活動】

- | | | |
|------------------------|-----|----------------------|
| ○防災学習プログラムの構築 | 4月～ | （Yahoo!基金） |
| 調査等業務委託：かまいしDMC | | |
| ・試行プログラム 東京都高校生の受入（ほか） | | |
| ○開設準備 | ～3月 | WEB開設、リーフレット・パンフ等の作成 |



交流館：外観



交流館：内部



体育馆：外観

鶴の郷交流館

協議：釜石うみやま連携交流推進協議会

【施設】竣工：2月 供用開始：3月

【施設概要】

○飲食・交流スペース、物販スペース、情報案内スペース、公衆トイレ、広場（建物外）

【出店予定】

○ 3事業者 4店舗（物販2店舗 飲食2店舗）

市民体育館

協議：釜石市スポーツ推進審議会・
釜石市体育協会・各屋内競技団体

【施設】竣工：H31.8月

供用開始（一般）：H31.12月

○アリーナ 延床面積 1,459m²程度

○観客席 776席（一般席770席・車椅子用6席）

【運営】

○指定管理者
・決定 H31.9月 議会承認

管理・運営

協議：鶴住居駅前地区公共施設管理運営検討委員会

【管理】供用開始：H31.3月

- エリア・施設名称 8月 公募・決定
- 設置条例 9月 祈りのパーク・津波伝承・観光交流施設

○施設所管課

- ・都市計画課 祈りのパーク・駐車場・駅前ロータリー・8号公園
- ・商業観光課 鶴の郷交流館・駅前広場
- ・生涯学習文化スポーツ課 市民体育館・いのちをつなぐ未来館
- ・震災検証室 いのちをつなぐ未来館（当面の間）
- ・生活安全課 駐輪場



うのすまい・トモス：エリア全体図

【運営】

- 指定管理者の決定
 - ・公募・選定 9月～
 - ・決定 12月 議会承認
- 協議体の設置 ~H31.3月
- オープンセレモニー 3月

【施設】

- サイン整備 ~3月 エリア・施設名・車両誘導サインほか

10. ラグビーワールドカップ2019釜石開催の取組みについて

釜石鵜住居復興スタジアム KAMAISHI UNOSUMAI MEMORIAL STADIUM 30.7月完成

施設の基本データ

- 収容人数: 6,000 席
- 工 期: 2017年3月15日~
2018年7月31日
- 竣 工: 2018年7月31日
- 設計者: (株)梓設計
- 施行者: 大成建設(株)・新光建設(株) JV
- 主な施設
 - ・球技競技場
 - メイングラウンド (約130m×80m)
 - サブグラウンド (約120m×78m)
 - ・管理事務棟 (3階建て)
 - 1F:シャワー室、更衣室、医務室、
レフェリールーム、トイレ
 - 2F:テラス
 - 3F:展望デッキ
 - ・駐車場: 東側142台、西側102台
 - ・屋外トイレ: 2か所
- 整備面積: 約90,000m²
- 整備事業費: 48億7,900百万円
(※うち仮設施設整備費は、9億8,700百万円の見込み)

整備の方針

1. 三陸被災地のスポーツ施設不足を解消し、県民が集い、スポーツを楽しめる。
2. 国際・国内スポーツ大会はじめ音楽・芸術・国際交流等多種多様なイベント開催ができる。
3. 常設設備を利用して医療福祉目的の健康体力つくり施設として有効活用できる。
4. 震災の記憶と防災の知恵を体感体験できる。
5. ラグビーV7・RWCレガシーを体感体験できる。
6. 自然環境、歴史文化を野外活動として学習体験できる。（釜石フィールドミュージアム）

デザインコンセプト

- ・羽ばたき
- ・船出



○大会全体の主なスケジュール

日付	時間	試合
9/20 (金)	18 : 30	開会式 (東京スタジアム)
9/20 (金)	19 : 45	開幕戦【日本  VS ロシア  】
9/20~10/13		予選リーグ
10/26 (土)・27 (日)	17:00/18:00	準決勝 (横浜国際総合競技場)
11/1 (金)	18 : 00	3位決定戦 (東京スタジアム)
11/2 (土)	18 : 00	決勝 (横浜国際総合競技場)

○釜石会場のスケジュール

日付	キックオフ	プール	試合
9/25 (水)	14 : 15	D	フィジー  VS ウルグアイ 
10/13 (日)	12 : 15	B	ナミビア  VS カナダ 



ボランティアの募集について

～公式ボランティア～

- 大会組織委員会の公式ボランティア
「TEAM NO-SIDE」の募集、選考、研修を開催

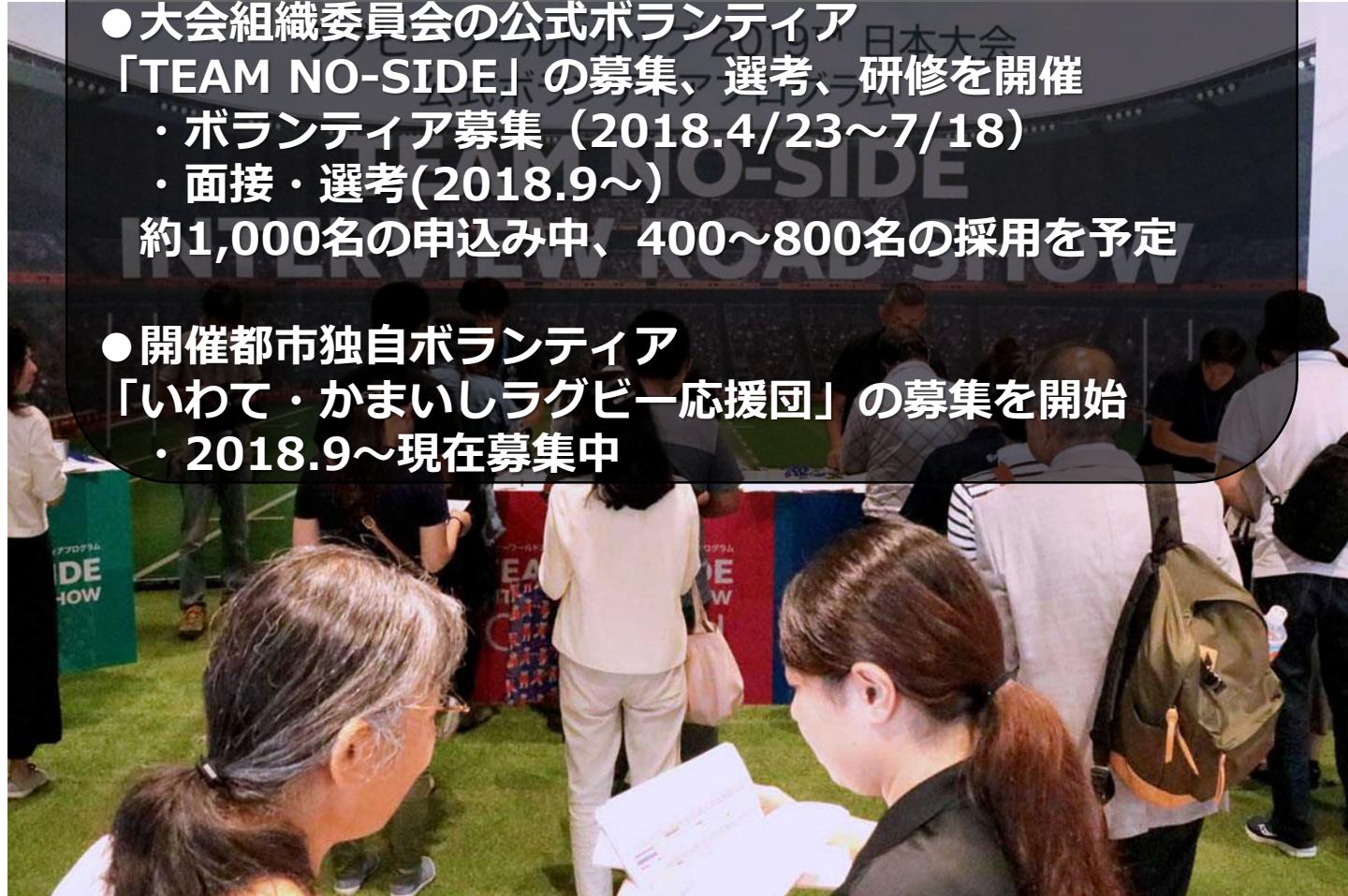
- ・ボランティア募集 (2018.4/23～7/18)
- ・面接・選考(2018.9～)

約1,000名の申込み中、400～800名の採用を予定

●開催都市独自ボランティア

- 「いわて・かまいしラグビー応援団」の募集を開始

- ・2018.9～現在募集中

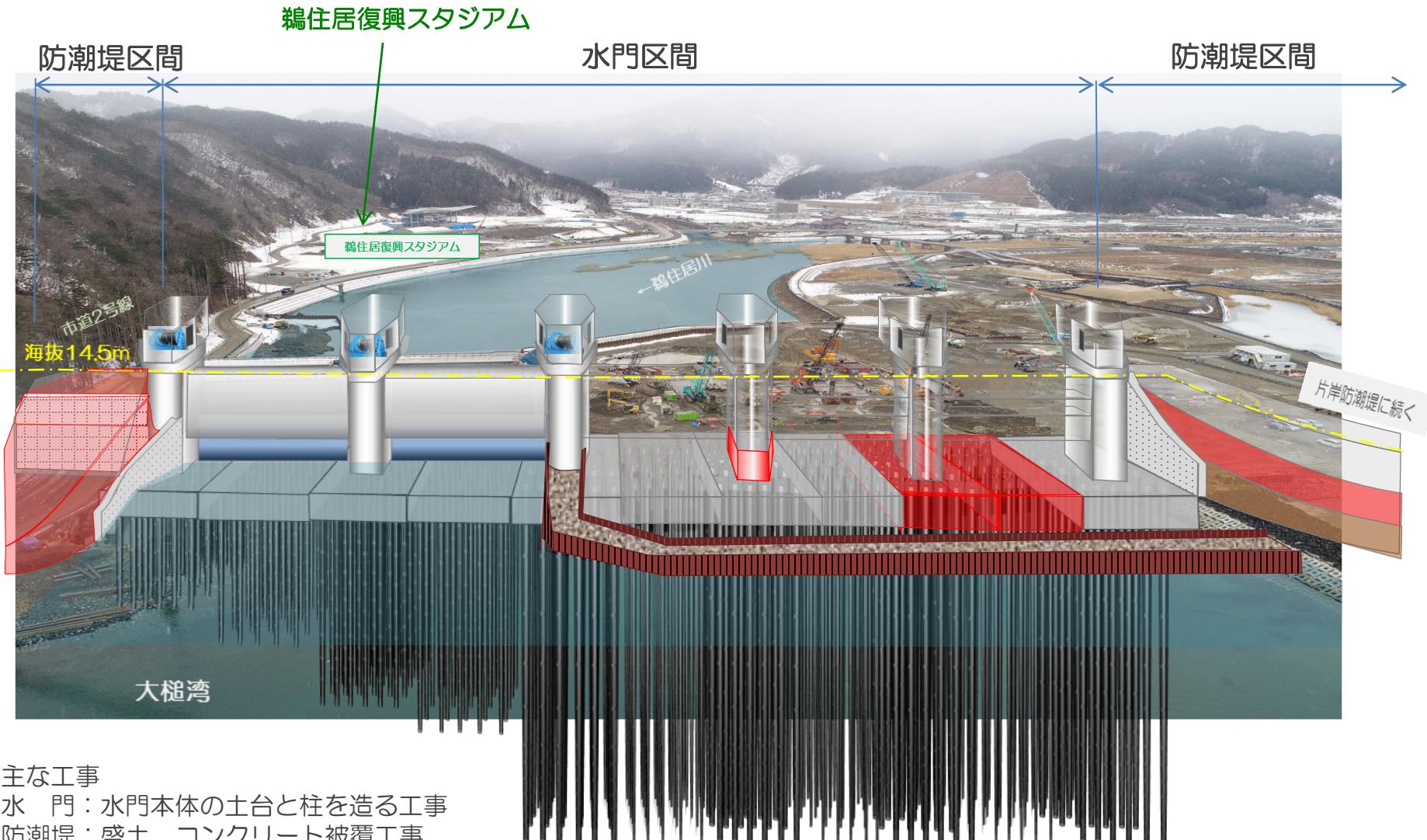


11. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について (岩手県沿岸広域振興局土木部)

片岸海岸防潮堤・鵜住居川水門 工事進捗状況

復旧・復興ロードマップにおける完了時(H31.8末)の防災機能について ～ラグビーワールドカップ開催時の防災対策～





片岸海岸防潮堤及び鵜住居川水門における防護ラインの考え方

撮影日時 平成30年3月

岩手県復興ロードマップ

分野区分	細分項目等	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	年度別整備スケジュール								備考		
					第1期 (事業実施期間)			第2期 (実施実施期間)			第3期 (更なる実施への連結期間)				
					H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			1 甲子川	(三陸高架 水門)N=1基	用地、設計等						★工事			H31.8まで防護機能発現	H31.8概成予定
			2 鵜住居川	(災害復旧 水門等)N=1基	用地、設計等						★工事			H31.8まで防護機能発現	H31.8概成予定
			3 片岸海岸	(災害復旧 防潮堤)L=0.8km	用地、設計等						★工事				H31.3概成予定

■ H31.8津波防護機能発現

至
大船渡

至
大槌



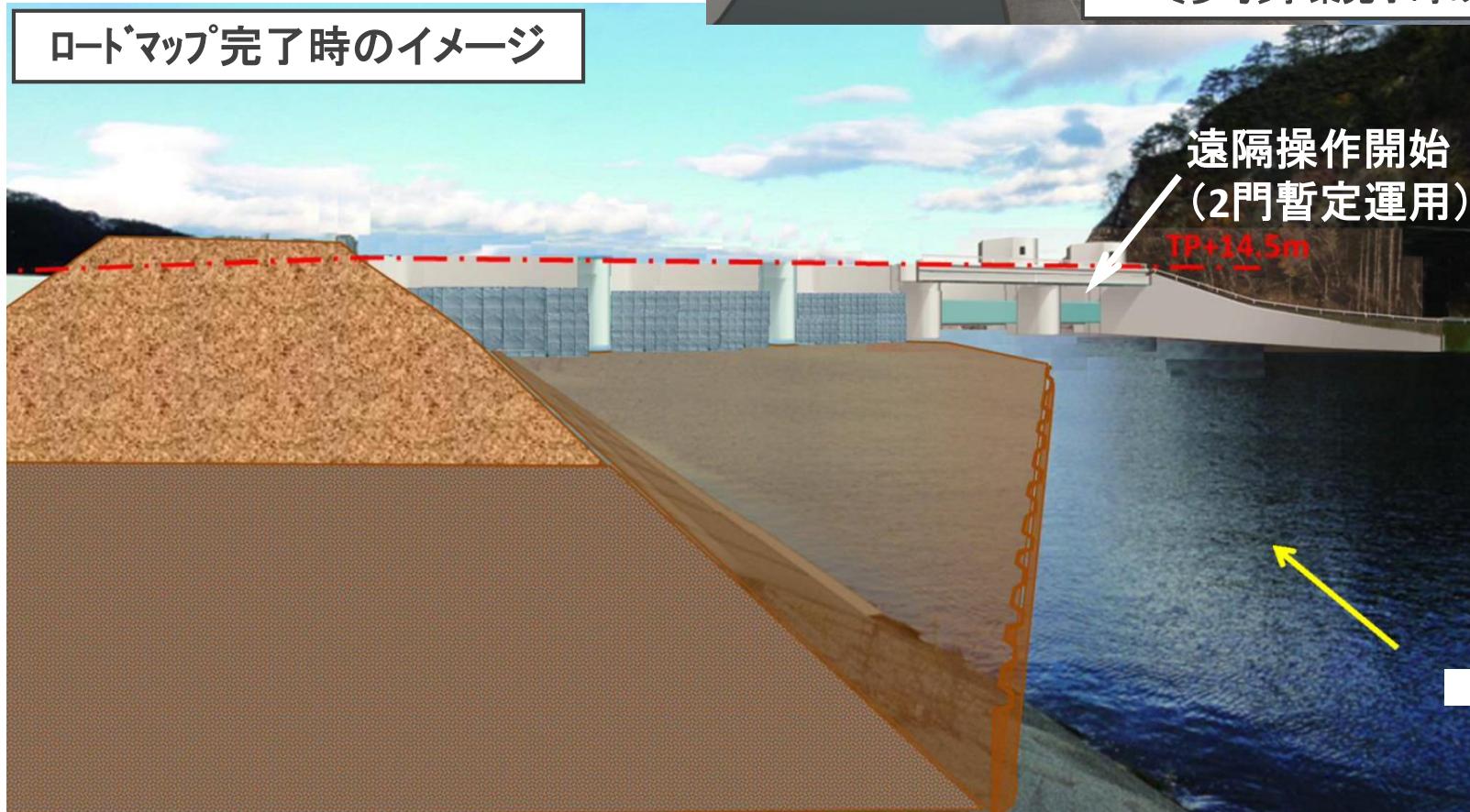
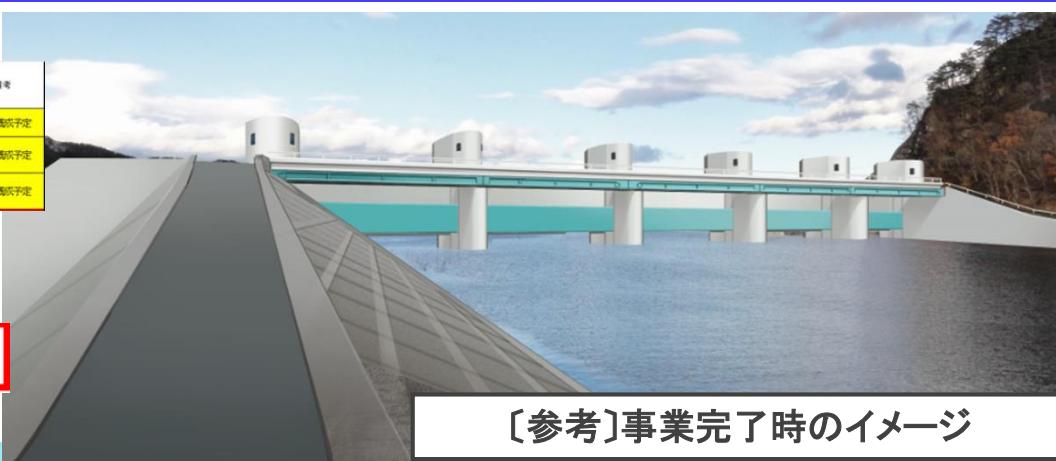
■復旧・復興ロードマップにおける完了時(H31.8末)の防災機能の確保

岩手県復興ロードマップ

分野区分	細分項目等	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	事業区分別スケジュール								備考				
					第1期 (着工実績)		第2期 (着工実績)		第3期 (より遅い実績)		完成実績						
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度								
1	甲子川	(三陸高架 外門N=1基)	用地、設計等	用地、設計等	★工事	用地、設計等	★工事	用地、設計等	★工事	用地、設計等	★工事	用地、設計等	★工事	H31.8完成予定			
				H31.4	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32					
2	鮫住居川 (火薙漁田 水門等N=1基)	用地、設計等	★工事	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	H31.9完成予定			
				H31.5	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32						
3	片寄海岸 (火薙漁田 防護壁L=8km)	用地、設計等	★工事	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	用地、設計等	H31.3完成予定			
				H31.6	H27	H28	H29	H30	H31	H32							

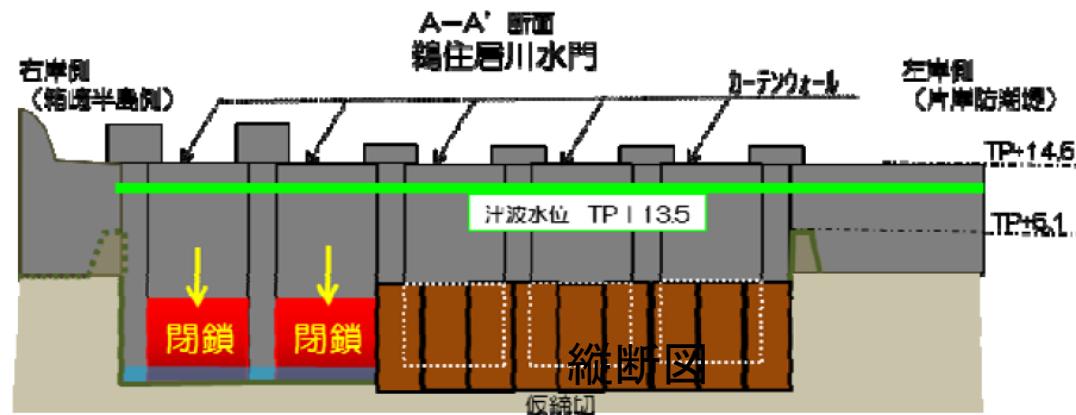
■H31.8津波防護機能発現

〔参考〕事業完了時のイメージ



津波対策の検討【鵜住居川水門の場合】

【正面図】



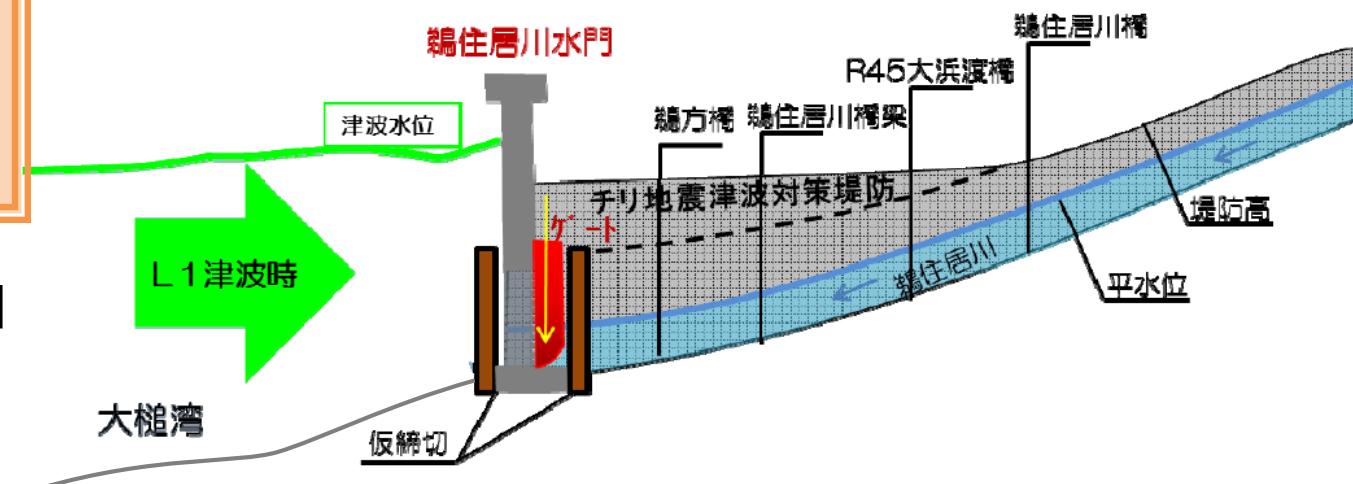
RWC時点の状況

- ・水門カーテンウォール5門完成 (TP+14.5m)
- ・水門ゲート5門のうち2門が完全閉鎖
- ・残り3門は仮締切内にて閉鎖

津波検証の条件

- ・潮位(震災時潮位)
- ・L1津波(明治三陸津波)

【側面図】



- ・水門完成時と同等の機能を確保します。

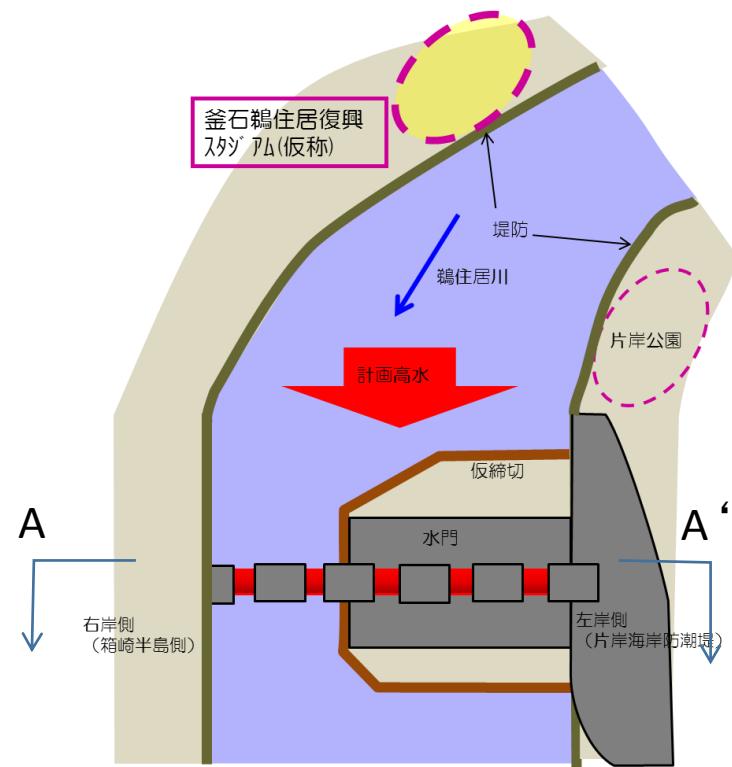
洪水対策の検討【鵜住居川水門の場合】

RWC時点の状況

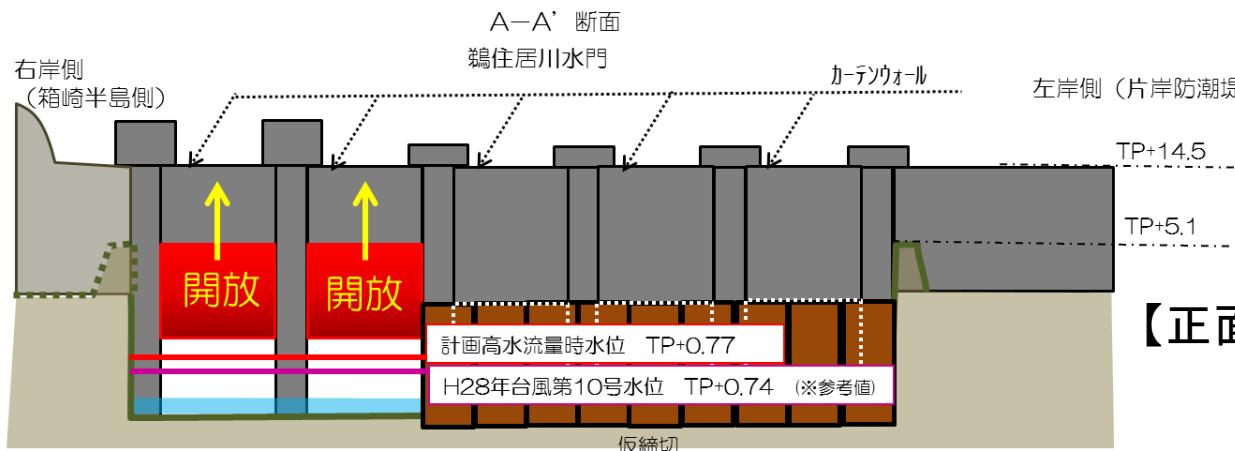
- ・水門カーテンウォール5門完成(TP+14.5m)
- ・水門ゲート5門のうち2門を開放
- ・残り3門は仮締切内にて閉鎖

洪水の条件

- ・計画高水流量1,000m³/s
- ⇒1/50年確率の洪水
- ※参考：H28台風第10号流量721m³/s
- ⇒概ね1/30年確率の洪水

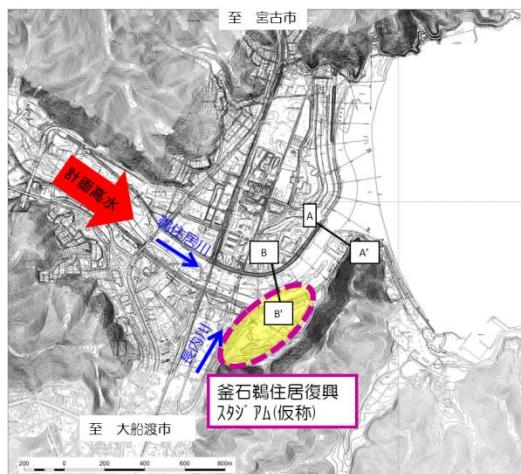


【平面図】

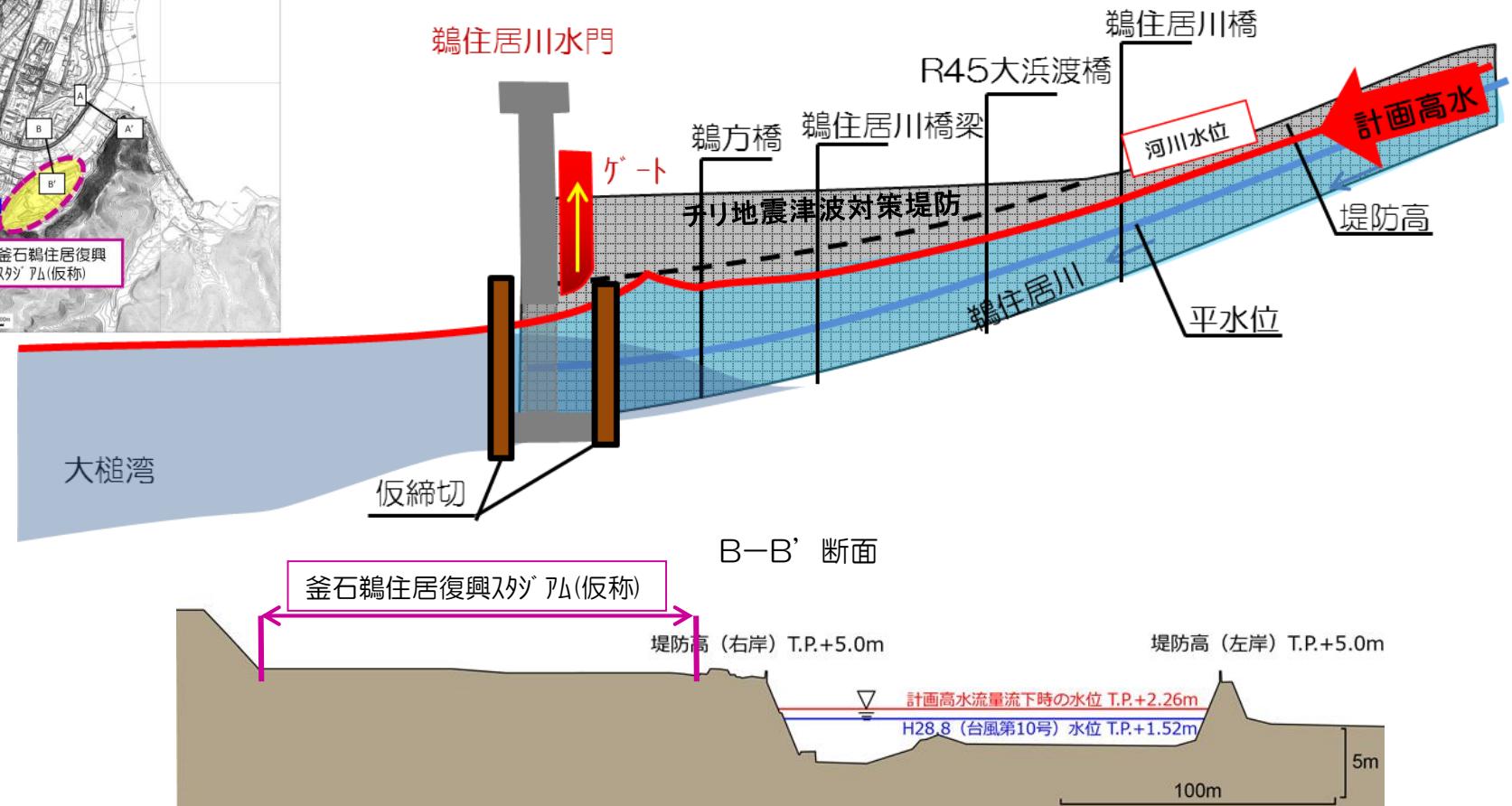


【正面図】

洪水対策の検討結果【鵜住居川水門の場合】



【側面図（縦断図）】



- 前述の条件で計算した結果、スタジアムを含む上流域で越水しない。
- 平成28年8月の台風10号相当の流量においても安全である。

片岸海岸防潮堤・鵜住居川水門周辺の整備について(イメージ図)

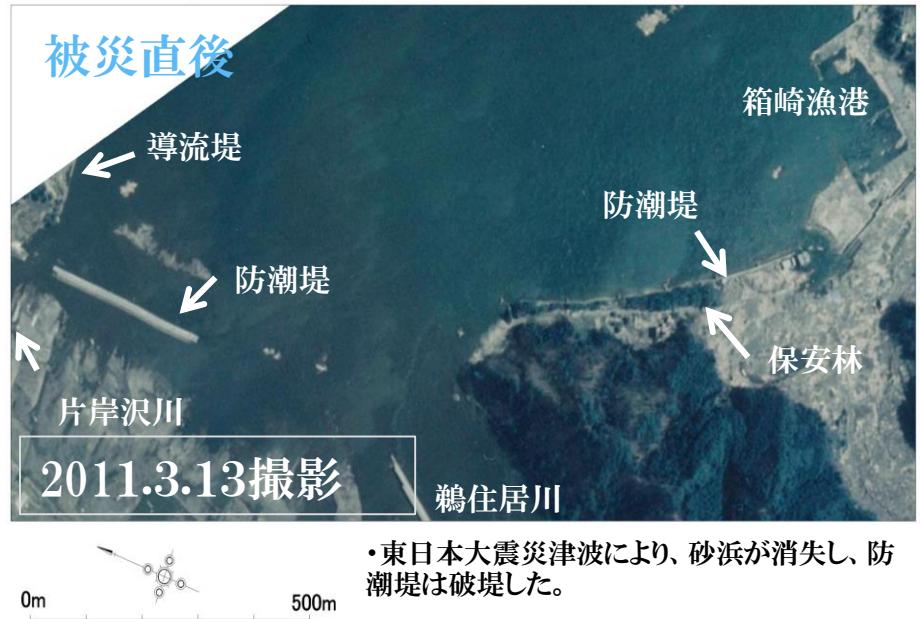
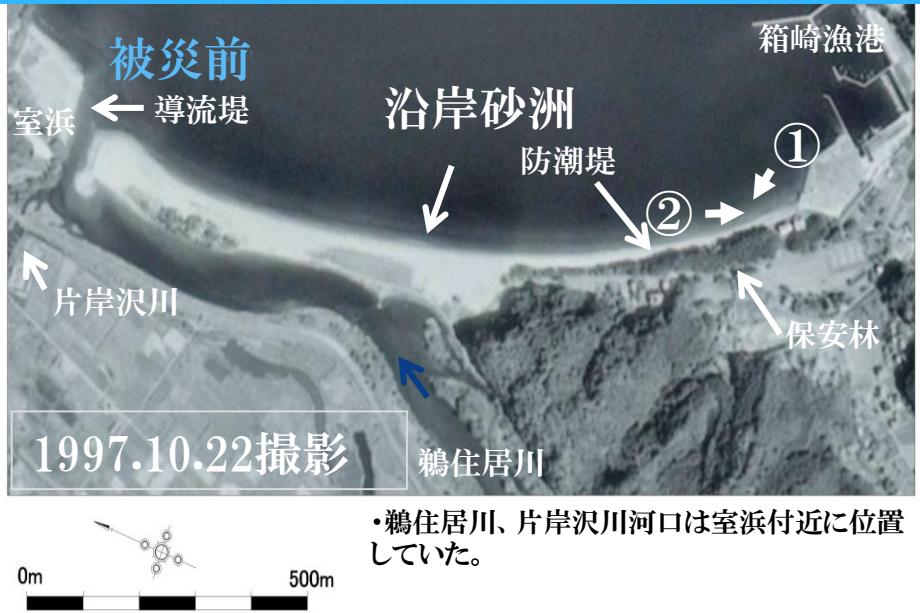


至 吉里吉里釜石線

12. 根浜海岸の砂浜再生事業について (岩手県沿岸広域振興局土木部)

根浜海岸の砂浜再生事業について

○根浜海岸の変遷



・鵜住居川河口部では水門工事中。

根浜海岸砂浜再生事業の経過

【これまでの経緯】

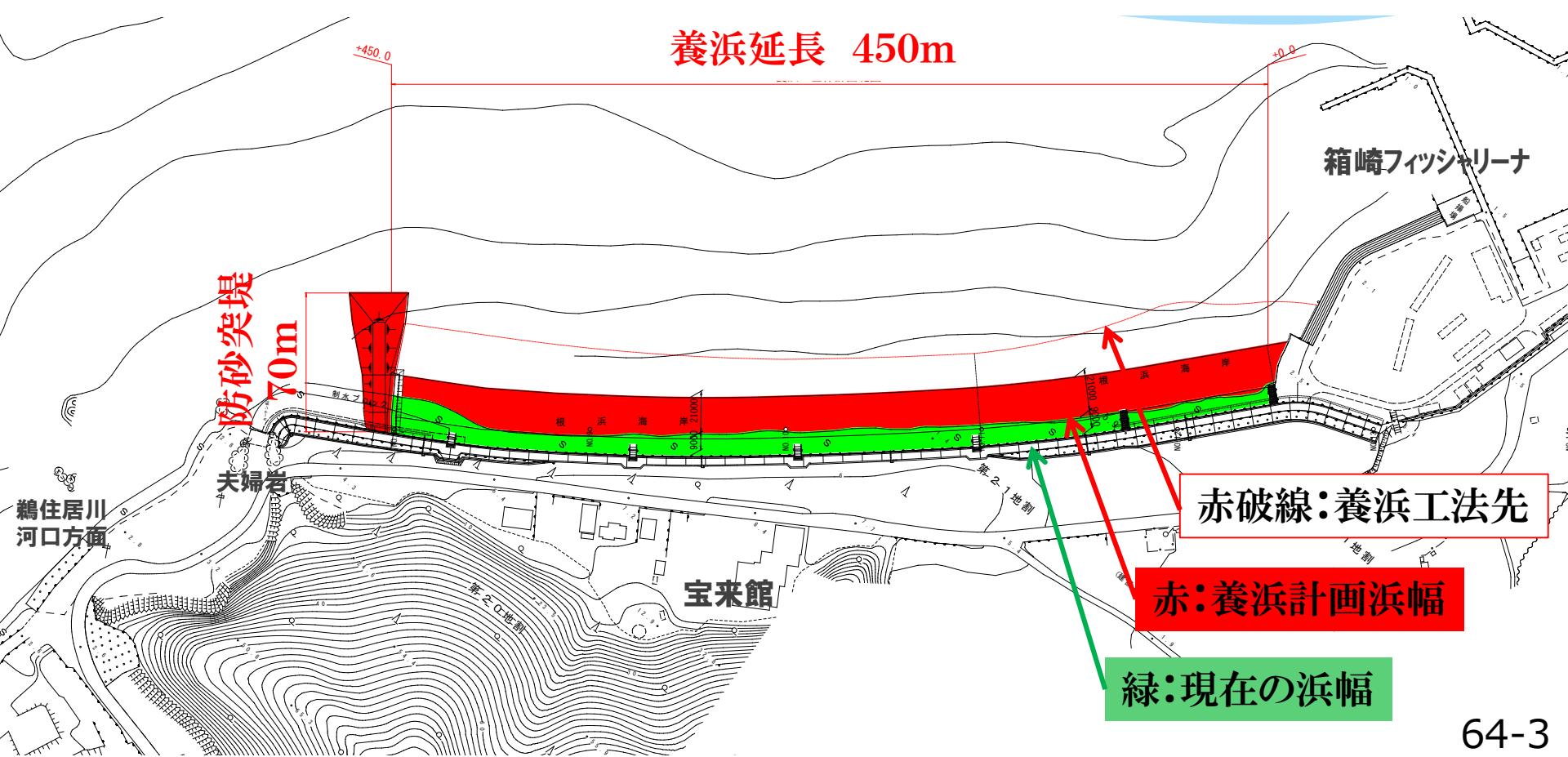
- ・2015年6月 釜石市が根浜海岸の自然再生は困難「360年かかる」と試算報告
- ・2016年7月 釜石市が岩手県に砂浜の人工再生を要請
- ・2017年3月 岩手県が砂浜再生事業の可能性検討に着手
※復興養浜技術検討委員会、砂浜再生懇談会を設置
- ・2018年3月 第2回委員会で「濁りに注意した施工により養浜工事が可能」、「養浜砂の定着は可能」との判断を得る
- 4月 岩手県が工事実施に向け詳細設計に着手
第3回砂浜再生懇談会で養浜計画の大枠を提示
- 11月 詳細設計を経て、復興交付金事業として工事費が認められる
- 2019年 1月 砂浜再生工事 現地着手(予定)

養浜計画について ①平面計画

1) 砂浜再生範囲、施設配置

- 養浜延長 450m
- 防砂突堤 1基

全体事業費 約10億円
事業期間 平成32年度まで
※復興交付金事業

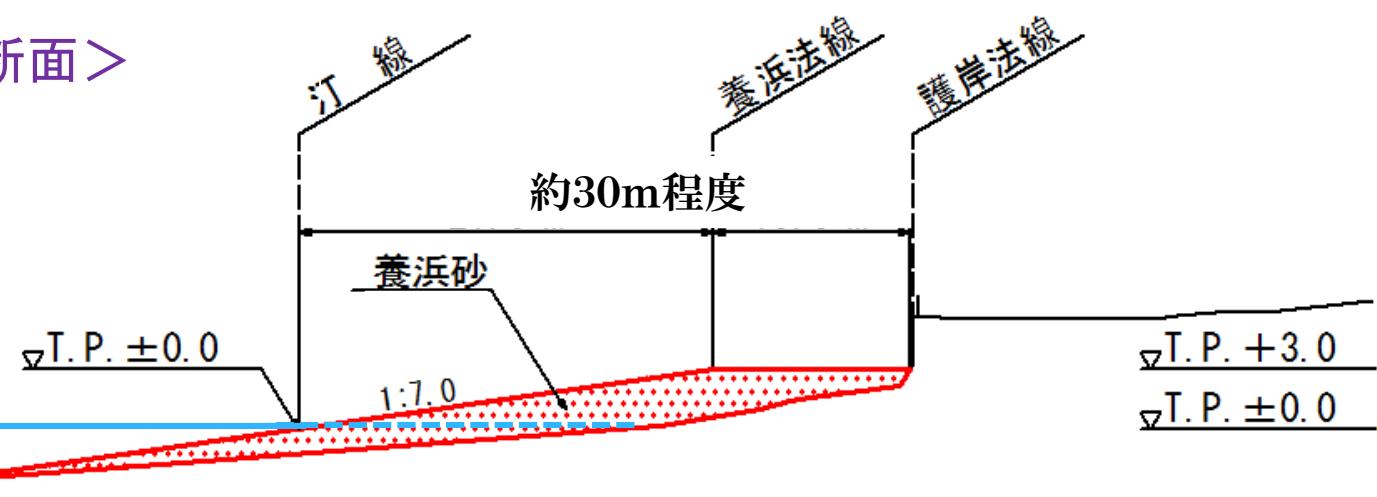


養浜計画について ②断面計画

2) 砂浜幅と高さ

- 前浜勾配1/7(養浜材粒径を0.5mmと仮定した場合)
- 後浜高 T.P.+3.0m
- 後浜幅 約10m程度、浜幅 約30m程度

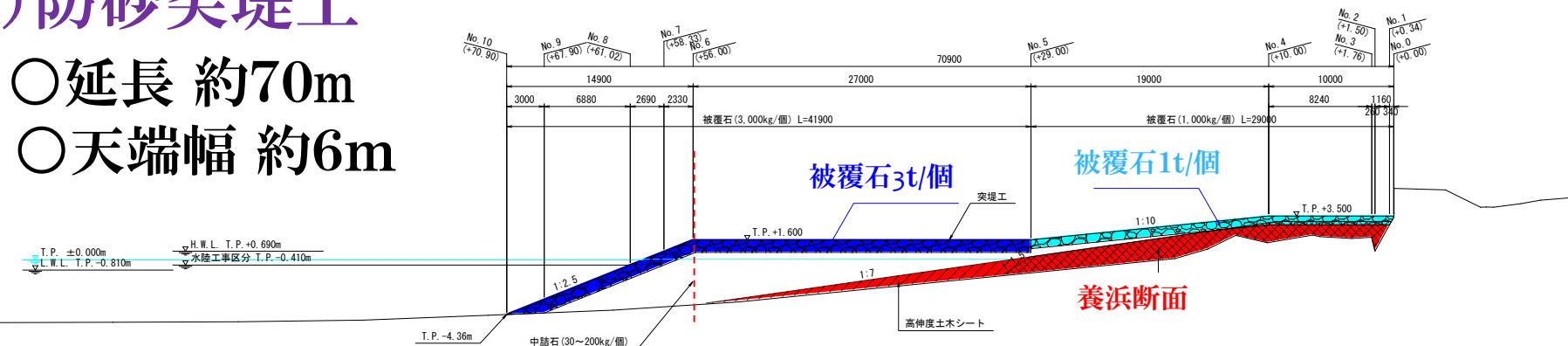
<養浜断面>



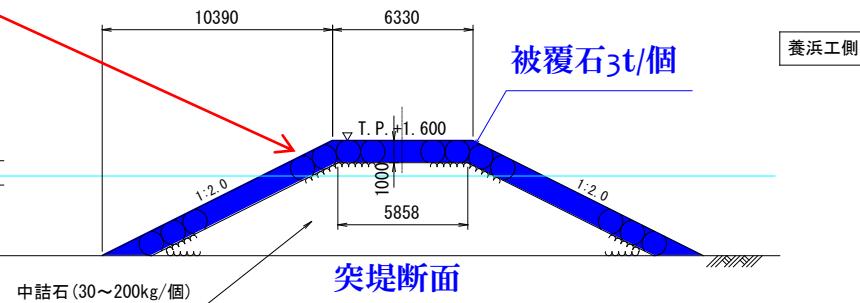
養浜計画について ③施設計画

3) 防砂突堤工

- 延長 約70m
- 天端幅 約6m



断面位置



高田海岸での施工例
(2018年11月)

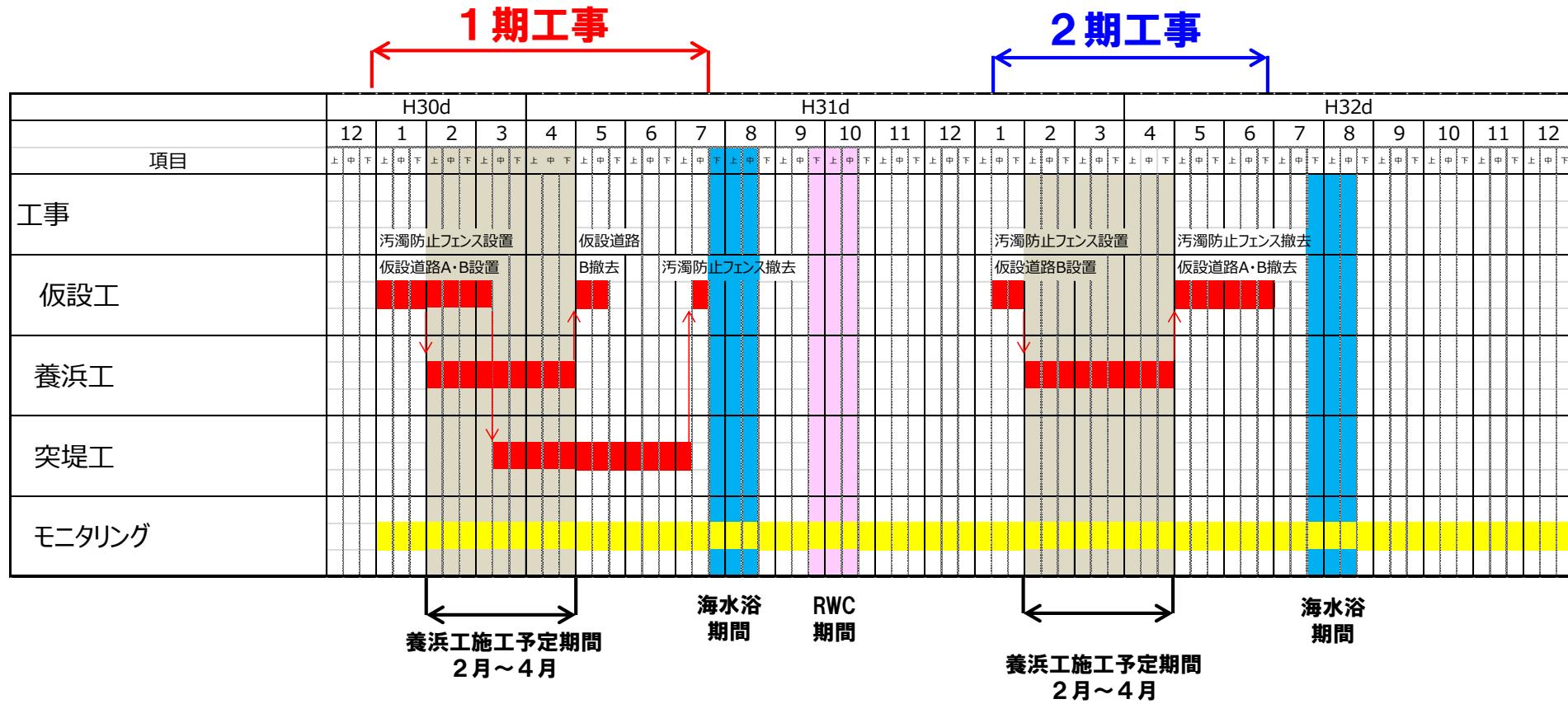


突堤	
構造形式	不透過型・石張式・傾斜堤構造。
使用材料	中詰は30~200kg/個の捨石。 被覆は重量3t/個以上の被覆石。 (※高田海岸の3倍の重量)
堤 長	汀線の短期変動を見込み、 計画養浜断面より10m程度延伸。

養浜計画について ④工事の進め方

4)全体工程

○水産業等のなりわい、海浜利用、ラグビーワールドカップTM2019TM釜石大会の開催にも配慮しながら工事を進める



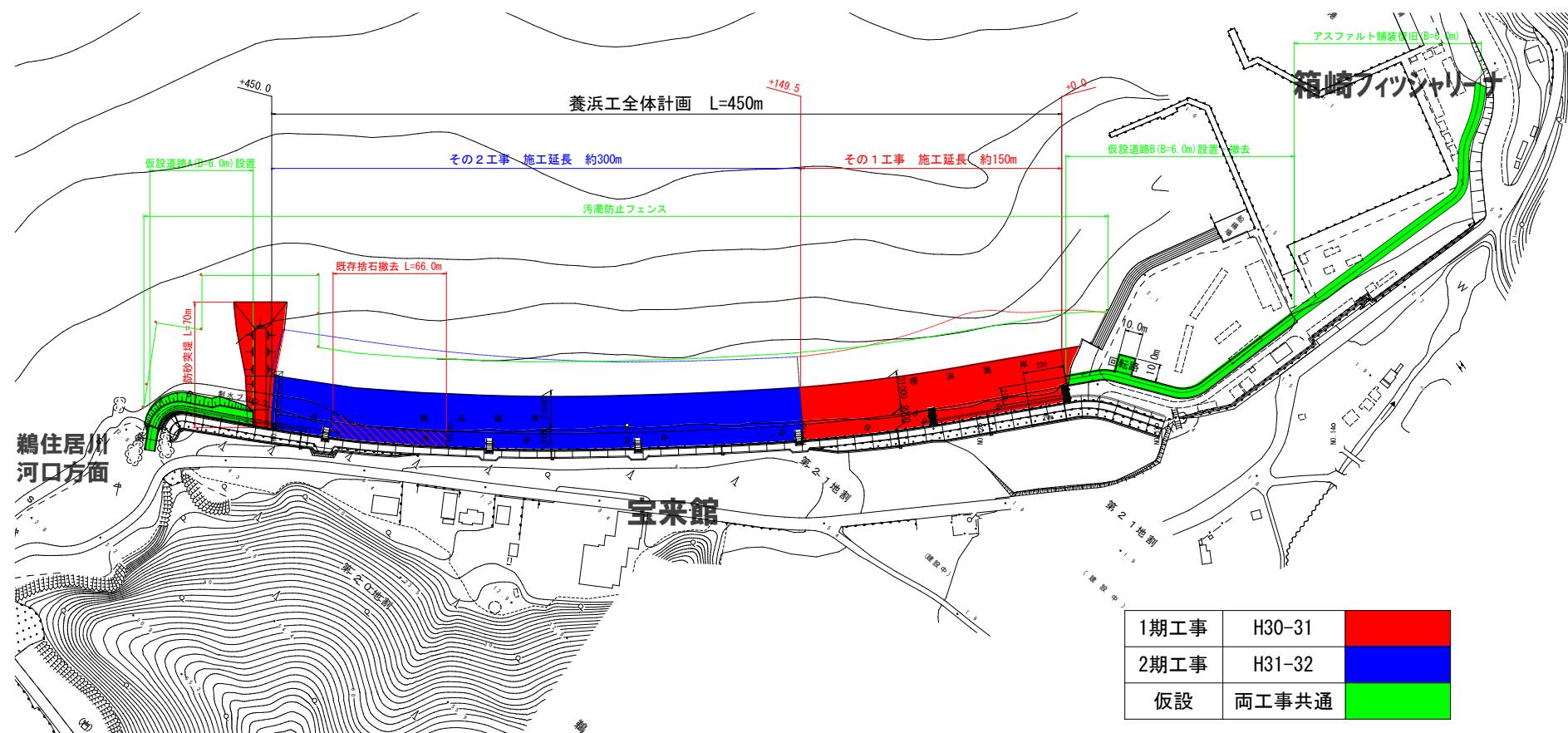
※工期については関係機関との調整により変更となるもの。

※海水浴の再開時期は現時点で未定。工事状況等を踏まえ、今後関係機関と安全性の確認等調整して決定。 64-6

養浜計画について ④工事の進め方

○工事は2回に分けて実施

- ・第1期工事で、養浜工事の影響と砂の定着状況を評価するため
- ・養浜工の施工可能期間が短いため



養浜計画について ⑤使用する砂

5) 養浜材

○計画養浜量 約4万m³

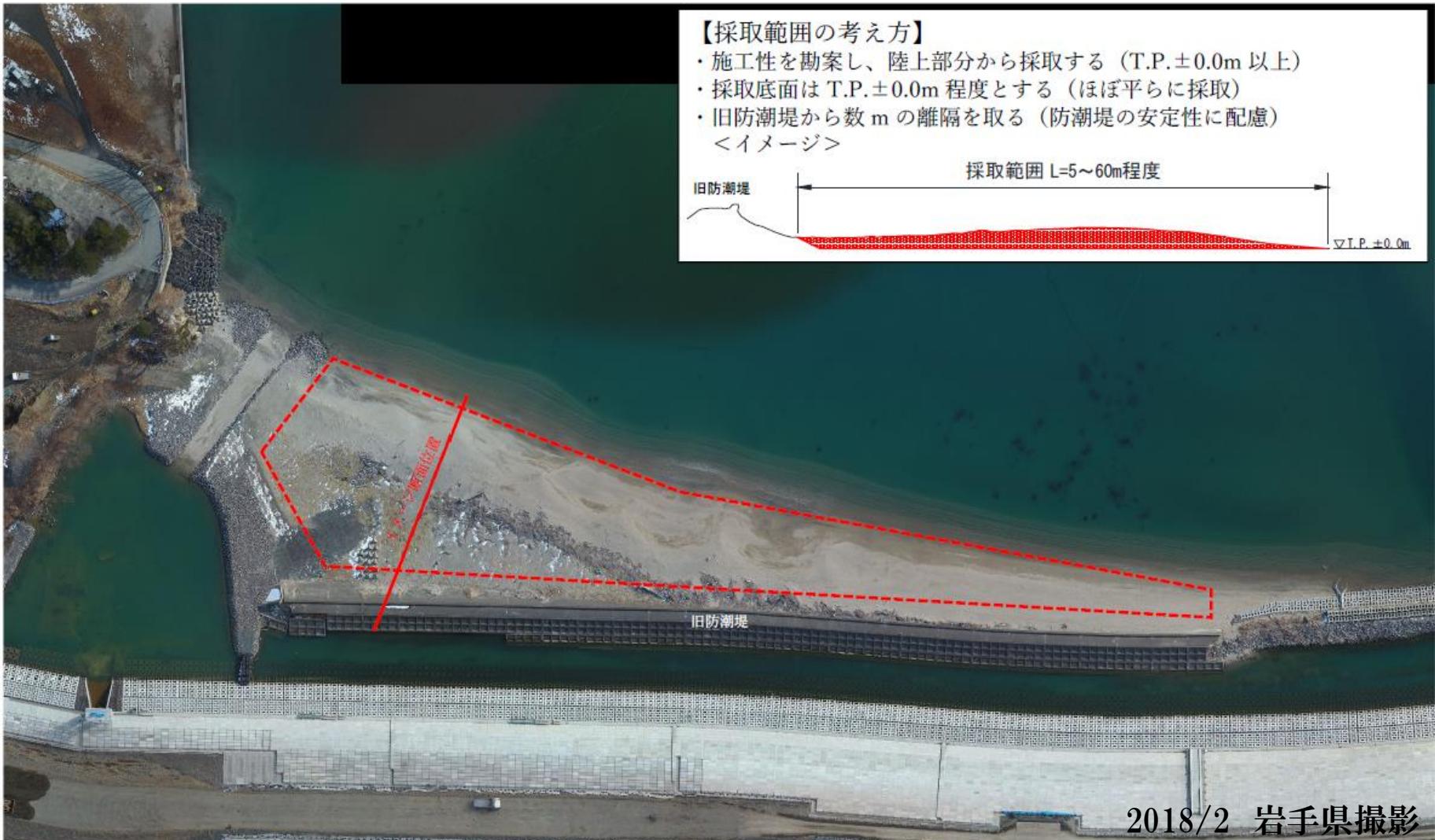
- ・粒径、色、安定供給、コストなどから使う砂を選定



出典:国土地理院撮影空中写真より作成

養浜計画について ⑤使用する砂

○片岸海岸からの採取方法



13. 国道45号 電線共同溝工事について

国土交通省 三陸国道事務所 釜石維持出張所

■電線共同溝工事の工事内容について

＜工事内容＞

工事名: 釜石管内電線共同溝工事

路線名: 一般国道45号

工事場所: 釜石市鵜住居町第14地割12-1地内～

釜石市片岸町第1地割15-2 地内

工事期間: 平成30年5月28日～平成31年2月下旬

(3月下旬まで延伸予定)

作業時間: 昼間 9:00～17:00

(測量・調査・歩道内規制作業等)

夜間 21:00～6:00

(車道片側交互通行規制(本体作業))

発注者: 国土交通省 東北地方整備局

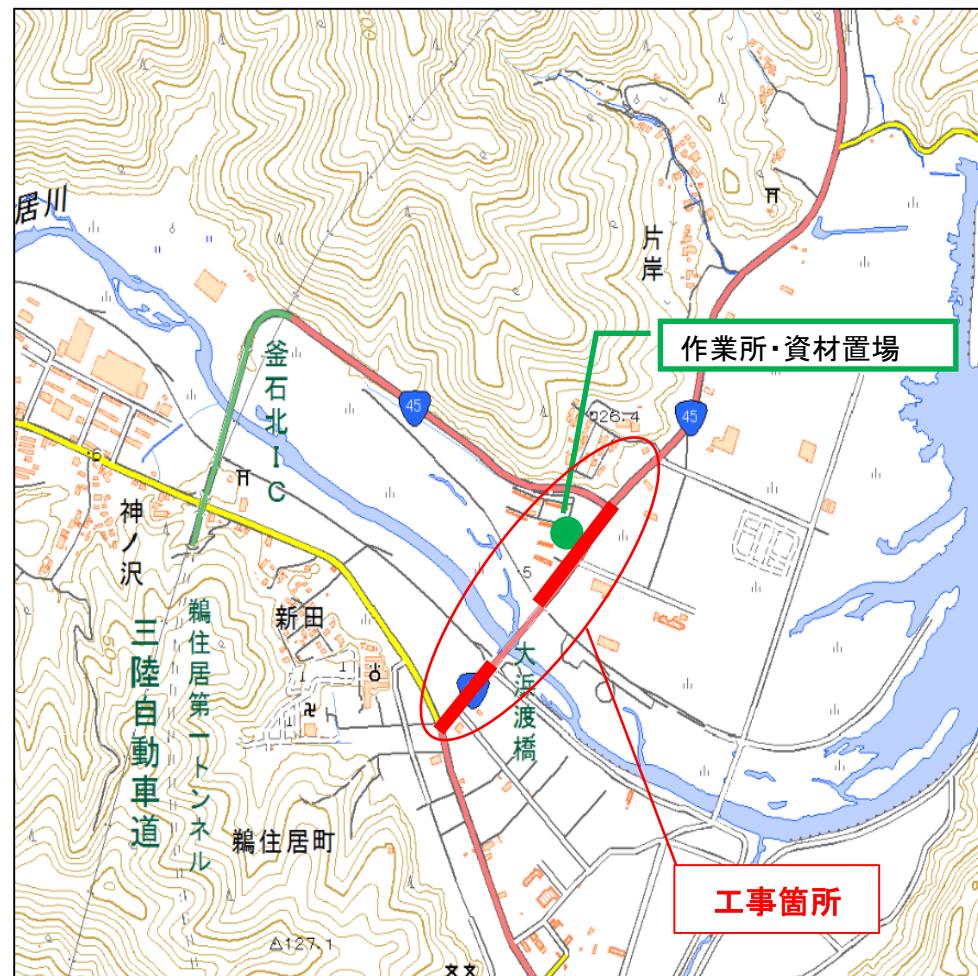
三陸国道事務所 釜石維持出張所

施工者: 株式会社TTK(ティティケイ) 鵜住居作業所

(連絡先) 住所: 釜石市片岸町第1地割14-1

TEL: 0193-27-7970

＜工事位置図＞



○現場事務所に不在の際は、下記の携帯電話へ連絡して下さい。

現場代理人 阿部 大樹 (あべ だいき)

(携帯電話: 090-6258-5371)

監理技術者 本多 正樹 (ほんだ まさき)

■電線共同溝工事の工事規制について

<工事規制概要>

主な作業は、夜間での片側交互通行にて実施となります。

昼間は車道を切回し常設規制帯を設置致しており、常設規制帯の設置期間は以下を予定しております。

- 上り線-平成30年10月24日
～平成31年1月上旬
 - 下り線-平成31年1月上旬
～平成31年3月上旬
- ※3月上旬以降に、現況車線に復旧します。

工事期間中は、皆様に何かとご不便・ご迷惑をお掛けするかと存じますが、何卒ご理解のうえ、ご協力を受け賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

<電線共同溝イメージ>

電線共同溝とは各家庭や建物に電気・電話等を供給する電線類を道路地下に集約して道路を無電柱化することによって、災害時の道路交通の確保や道路景観の向上を図る道路付属施設です。



<工事位置図>



14. 意見交換
